

5 ボディ

5-1 ボディ

[1] ボディ	5-2
■ 概要	5-2
[2] ルーフトリム＆マット	5-3
■ 概要	5-3
■ 整備要領	5-5
[3] リヤサンルーフ	5-6
■ 概要	5-6
■ 整備要領	5-6

5-2 ボディ外装

[1] バンパー	5-7
■ 整備要領	5-7
[2] フロントマスク	5-8
■ 整備要領	5-8

変更項目のみ記載、記載なき項目は、
既刊の新型車解説書・整備解説書を
参照下さい。

5-3 ボディ内装

[1] インストルメントパネル	5-9
■ 概要	5-9
[2] シートベルト	5-10
■ 概要	5-10
[3] シート	5-11
■ 概要	5-11
[4] 大型ドアミラー	5-11
■ 概要	5-11

■ 主要変更点

5-1 ボディ

- ・シートベルト（ELR）大型化およびフルエアミックス化等により取付け穴の位置等を変更した。
- ・トラック系クラシック車展開によりFパネル、FピラーOUT、キャブフロアを変更した。
- ・トラック、トラックパネルバン（ハイルーフ車）のルーフトリムを嵌め込み天井方式に変更した。
- ・リヤサンルーフモータASSY（ユニット、リミットSW一体型）を新装した。
- ・ディアス系にフロントガーニッシュを追加しフロント廻りをワゴン風とした。

5-2 ボディ外装

- ・トラック系にクラシック車仕様を追加した。

5-3 ボディ内装

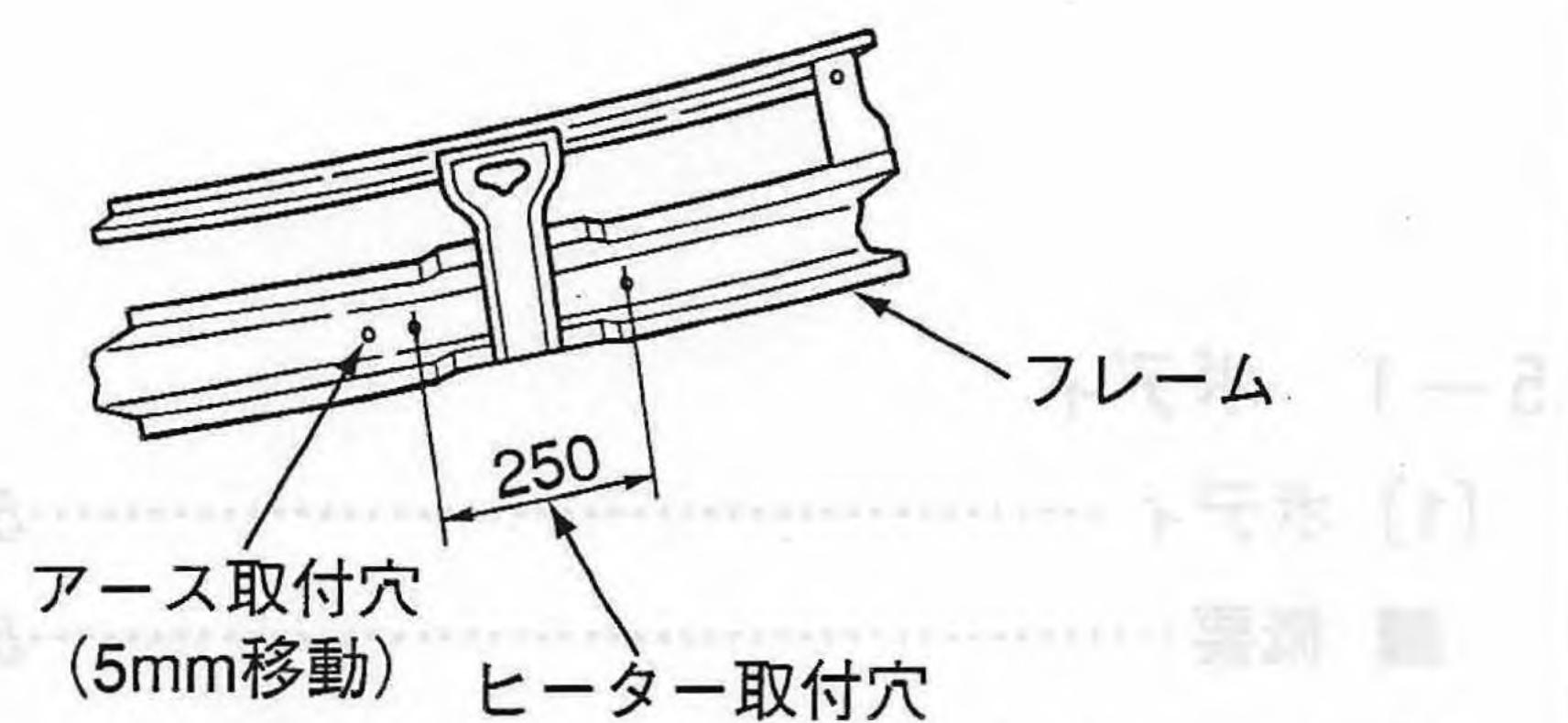
- ・ディアス系全車のインストルメントパネル中央部にカップホルダーを開設した。
- ・シートベルトのELR（緊急ロック式巻取装置）を変更し、ベルト未装着警報スイッチ位置を変更した。
- ・INベルトのバックルはELR内臓（ウエビング巻量感知スイッチ）を採用した。
- ・トラック系の助手席シートバックフレームを樹脂製に変更した。

〔1〕ボディ ■ 概要

1. ヒーターフルエアミックス化に伴いヒータ取付け穴

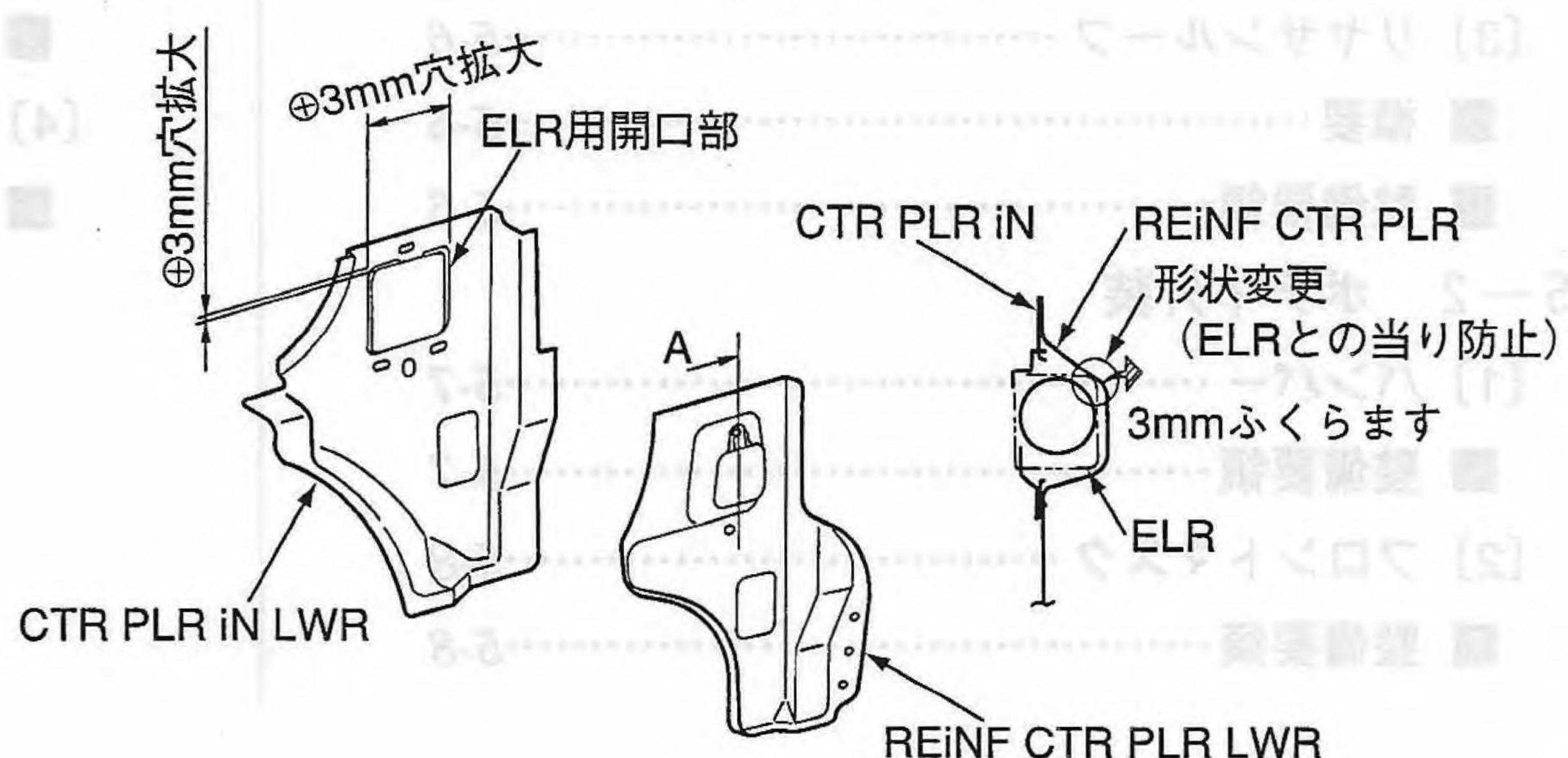
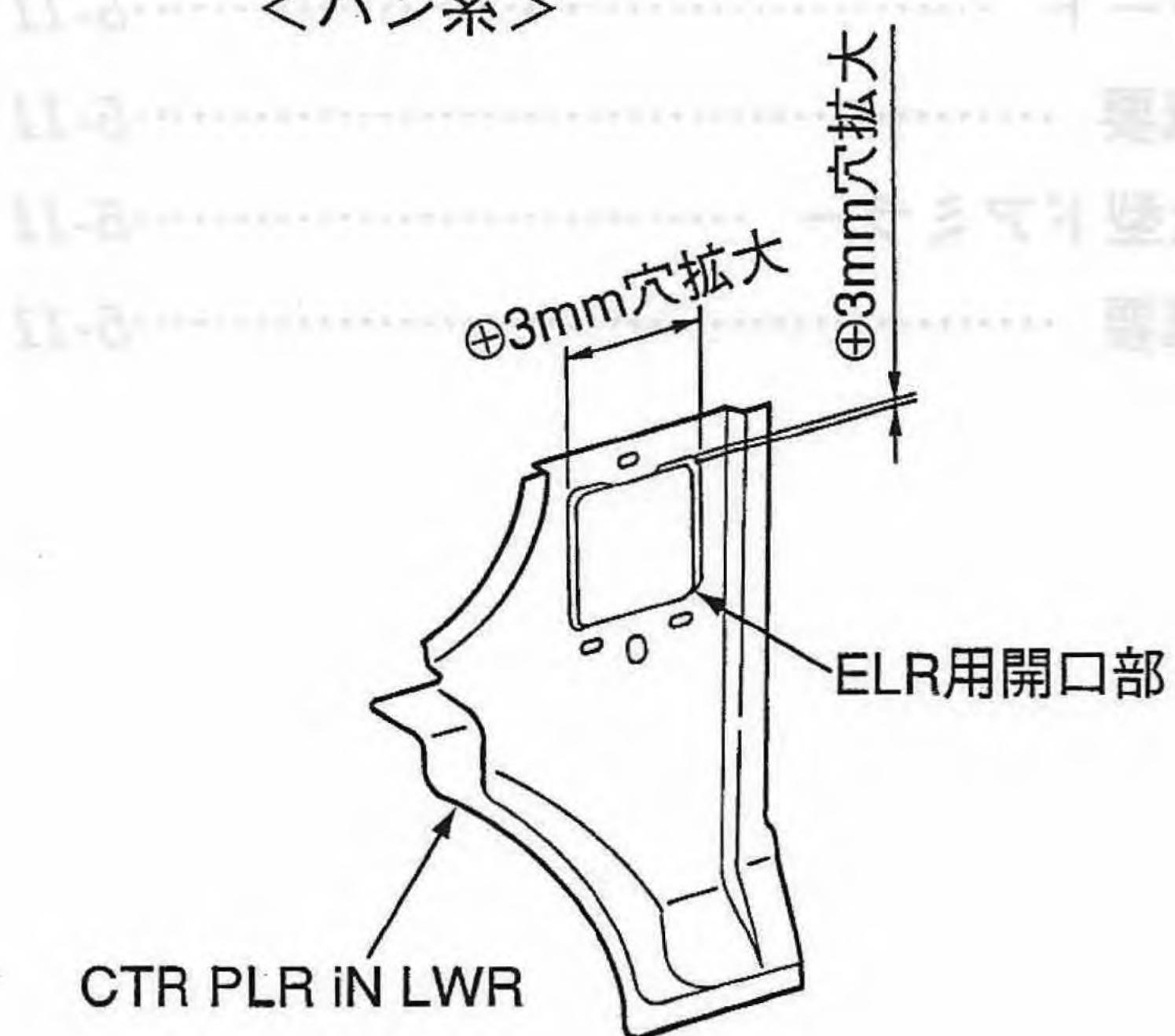
およびアース取付け穴位置を変更した。

- ・トラック及びバン系

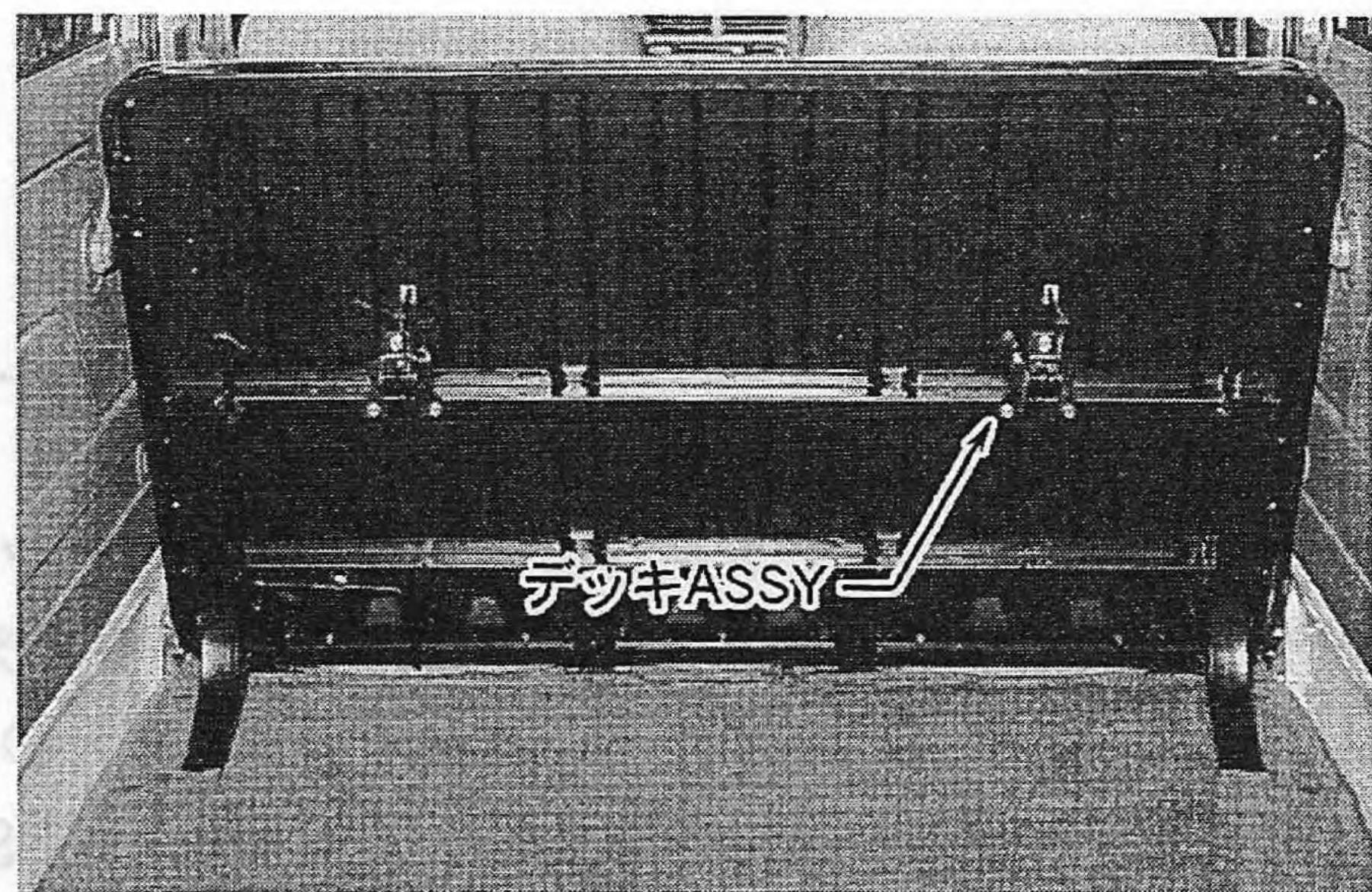
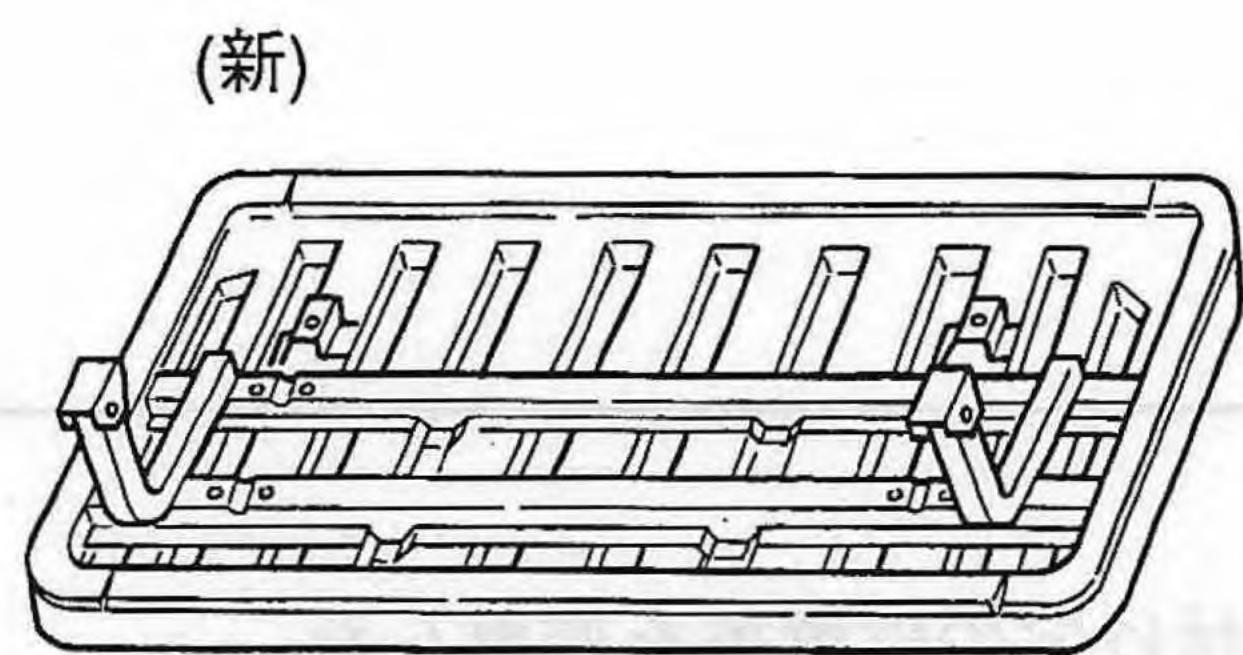


2. シートベルト (ELR) 大型化に伴いELR開口部を変更した。

<バン系>



3. バン&ディアス系のデッキASSYを4分割化した。



4. クロスメンバD COMPLの成形方法を変更した。

(ドロー成形 → ホーミング成形)

5. その他

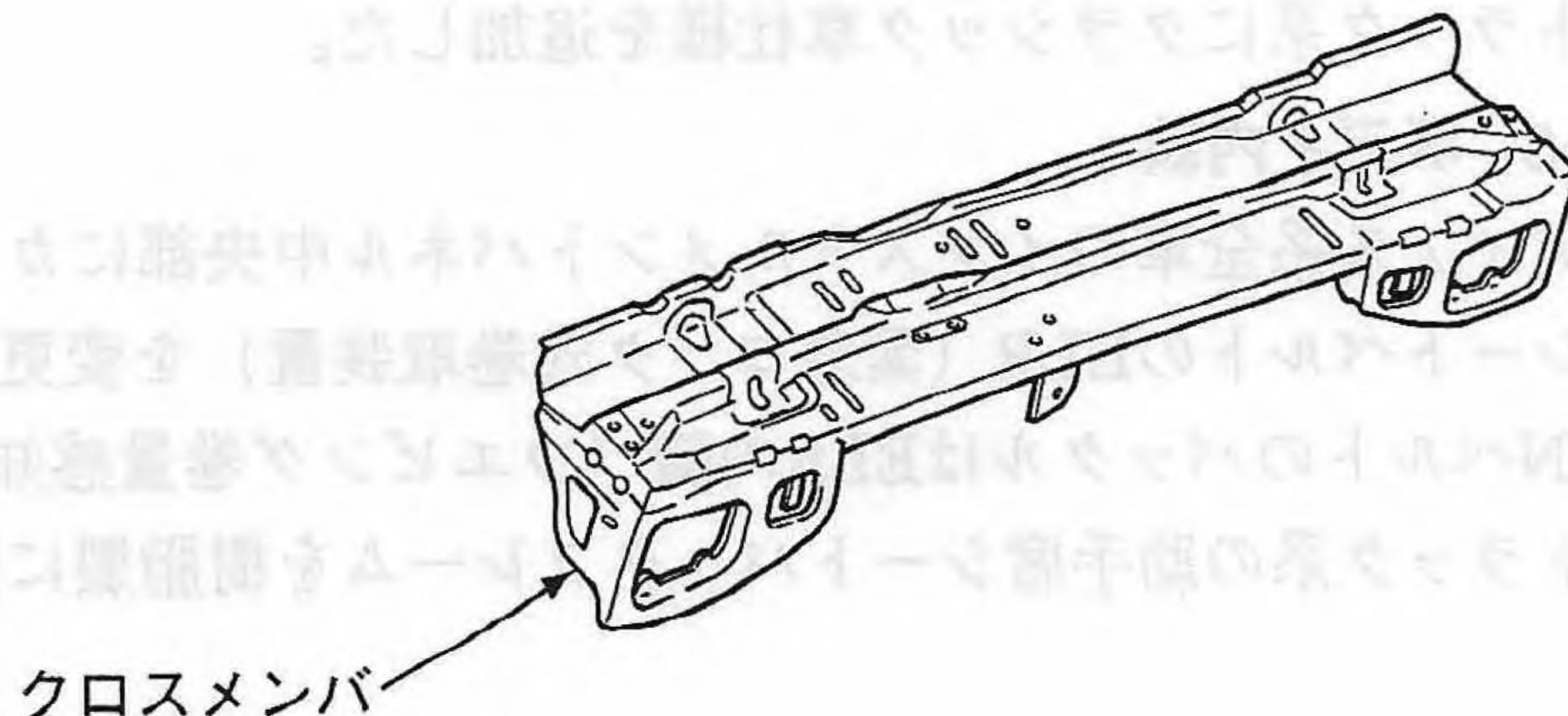
- ・FパネルにFグリル取付用穴を設けた。

(ディアス系)

- ・Fパネルの黒塗り塗装は廃止した。

(ディアス系のみ)

- ・トラック、クラシック車にフロントマスクが設定されたのでFパネル、FピラーOUT, キャブフロアを変更した。



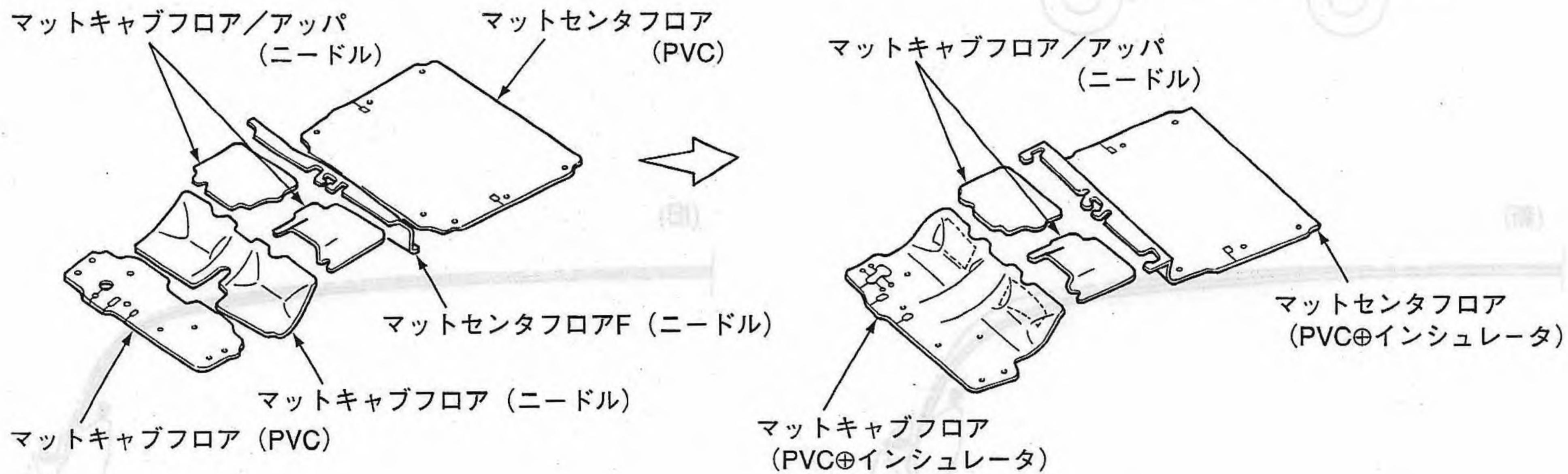
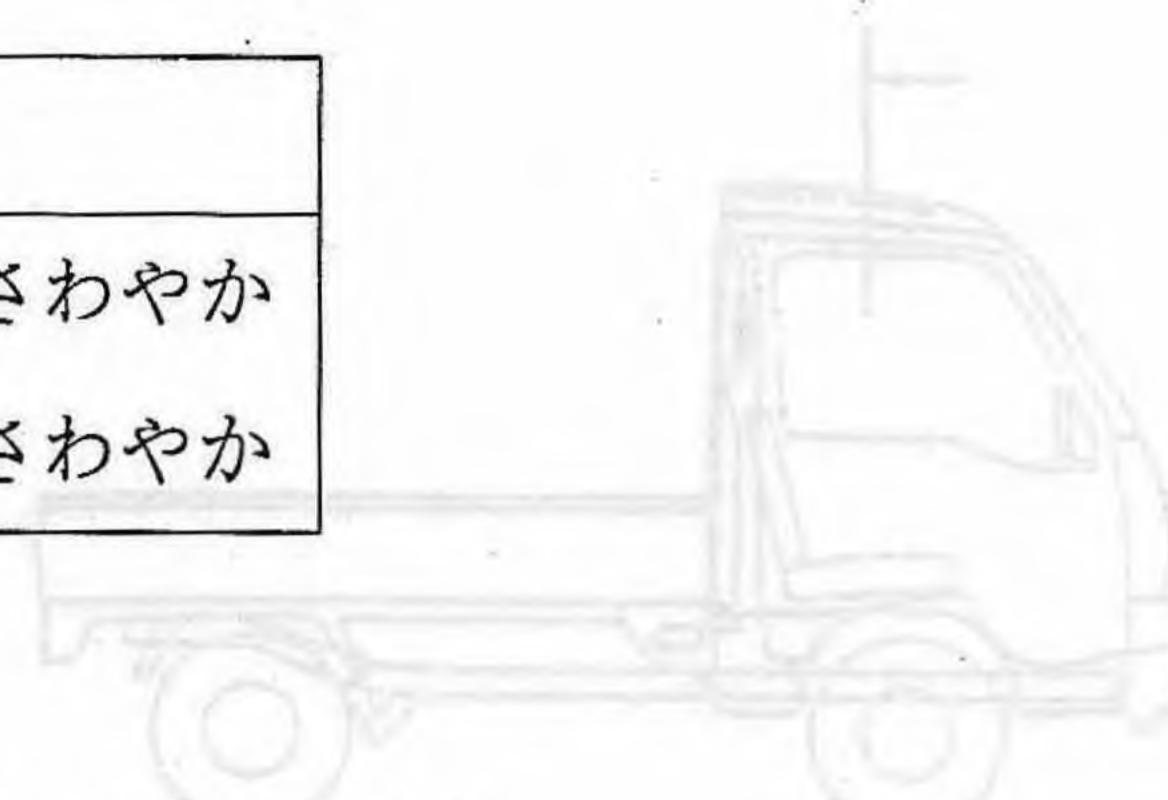
〔2〕 ルーフトリム&マット ■ 概要

(1) フロアマット (キャブセンター)

- マットセンタフロアFとマットセンタフロア及びマットキャブフロアとマットセンターフロアを一体化して仕様統一 (エンビ体) を図った。

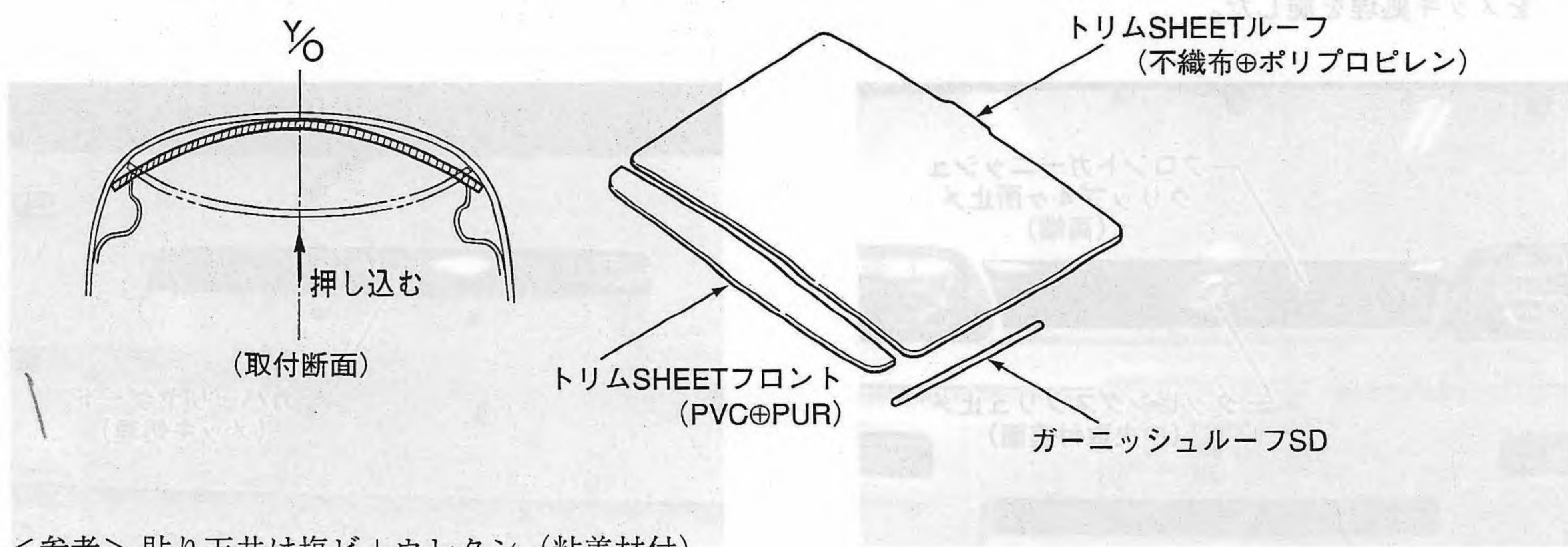
<適用車種>

4シータ	標準ルーフ	2WD SDX
	ハイルーフ	2WD SDX クラシック SDX さわやか 4WD SDX クラシック SDX さわやか



(2) ルーフトリム

- トラック、トラックパネルバン (ハイルーフ全車) のルーフ材質を変更し嵌め込み天井方式とし (従来は貼り天井) 作業性を向上させた。

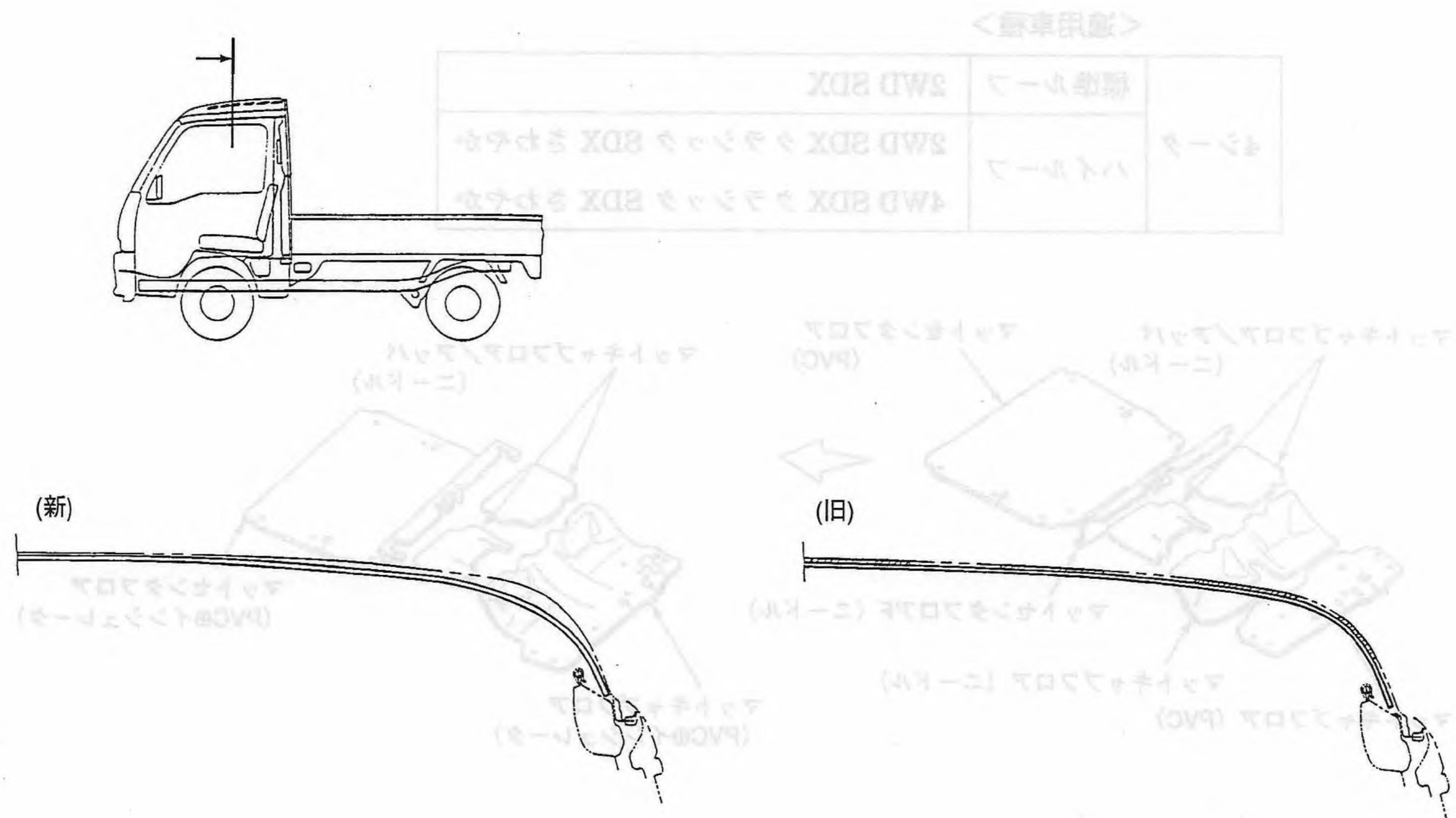


<参考> 貼り天井は塩ビ+ウレタン (粘着材付)

(3) ドアトリム (キャブ・スライド)

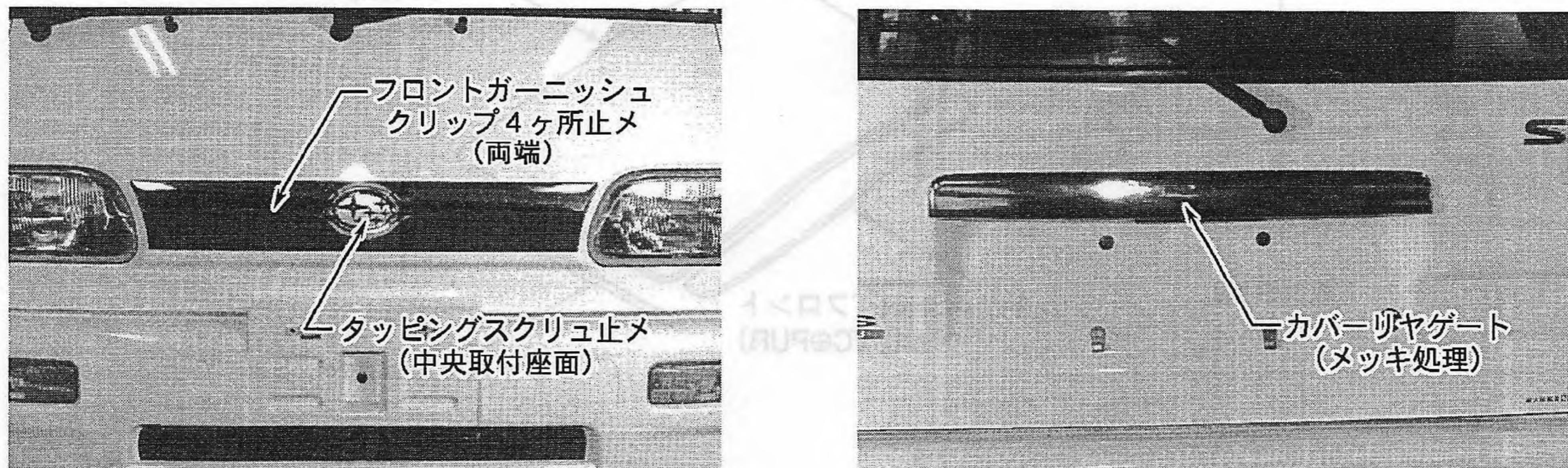
- クラシック車 (ディアス, バンSDX) の加飾部表皮を変更した。(ライトベージュトリコット←スモール市松トリコット)

(4) トラックのルーフトリムの成形方法を型物から平板に変更した。これに伴いヘッドクリアランス10mm減となった。(1075mm → 1065mm)



来歴：J50後期天井板の変更を費材で一式の（車全マーキング）へ交換を行なった。

(5) ディアス系にフロントガーニッシュを追加し、フロント廻りをワゴン風化とした。更にカバーリヤゲートをメッキ処理を施した。



フロントガーニッシュはクリップ4ヶ所止メ（両端）とタッピングスクリュ（中央オーナメント取付座面）で固定されている。

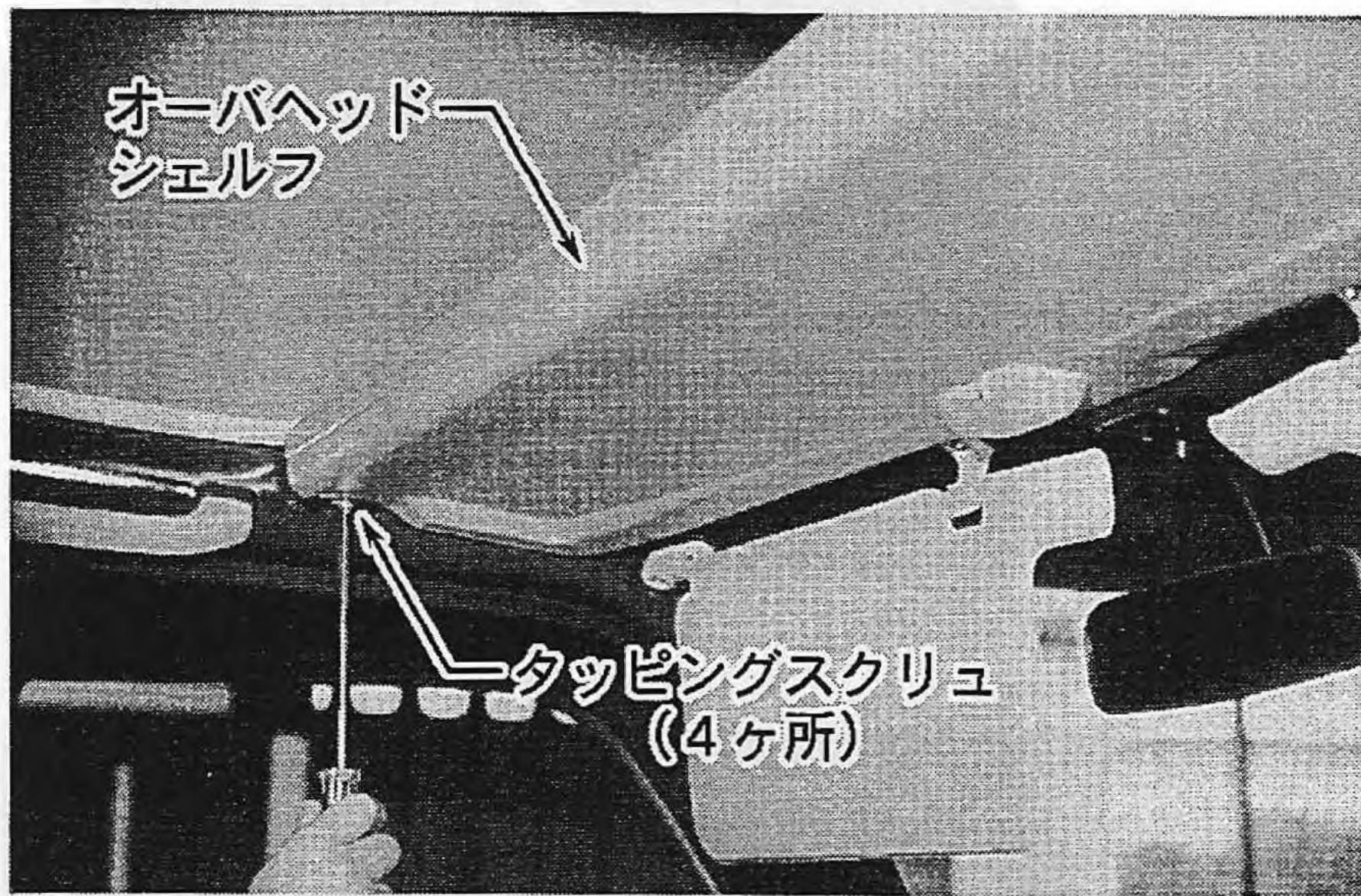
■ 整備要領 ルーフトリム

(Y32Aマニ子壁材) マニ子マニ子マニ子 [8]

脱 着

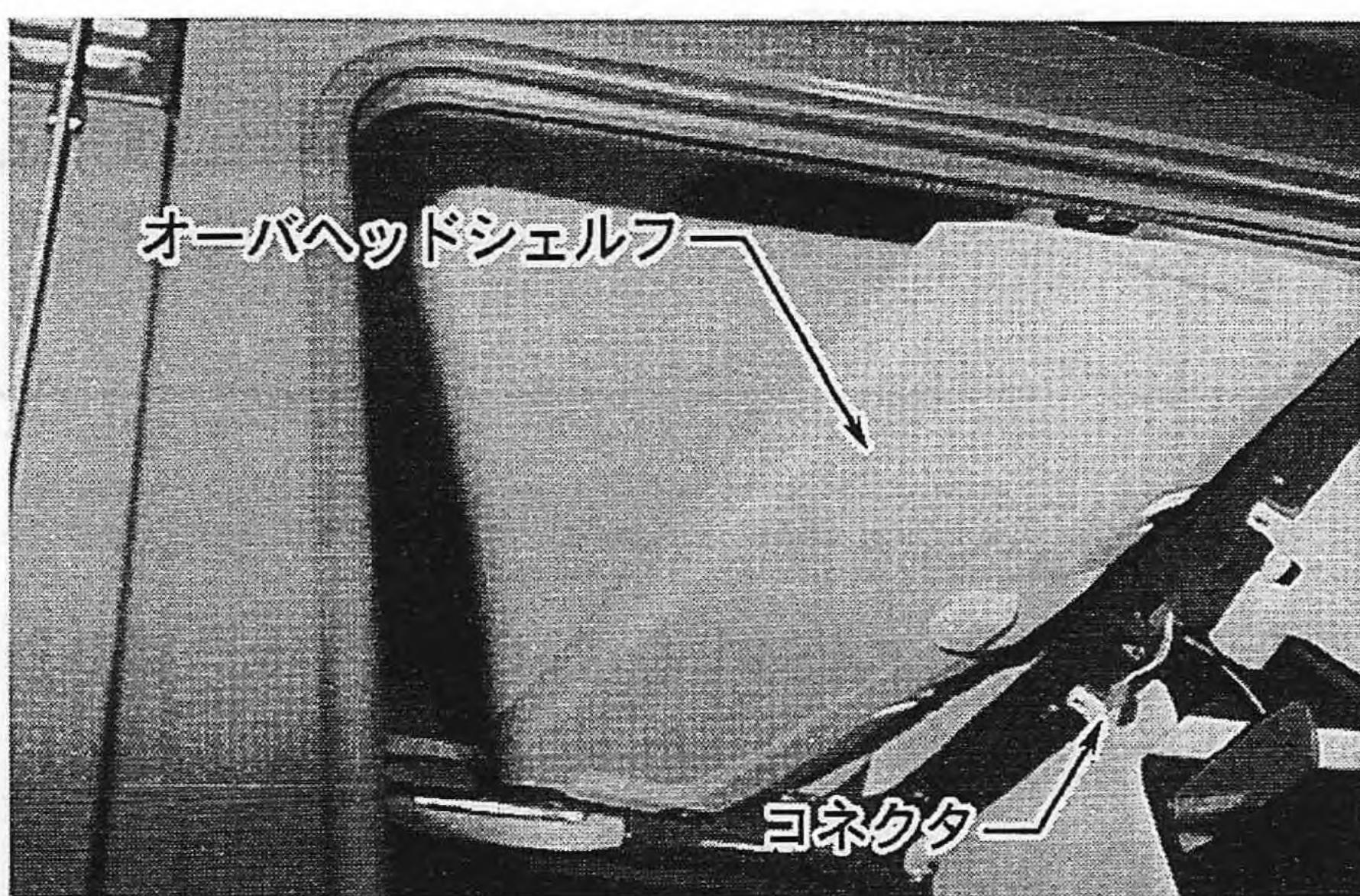
<取外し>

- (1) バッテリー \ominus 端子を外す。
- (2) オーバーヘッドラックの取付け部（タッピングスクリュ4ヶ所）を外す。



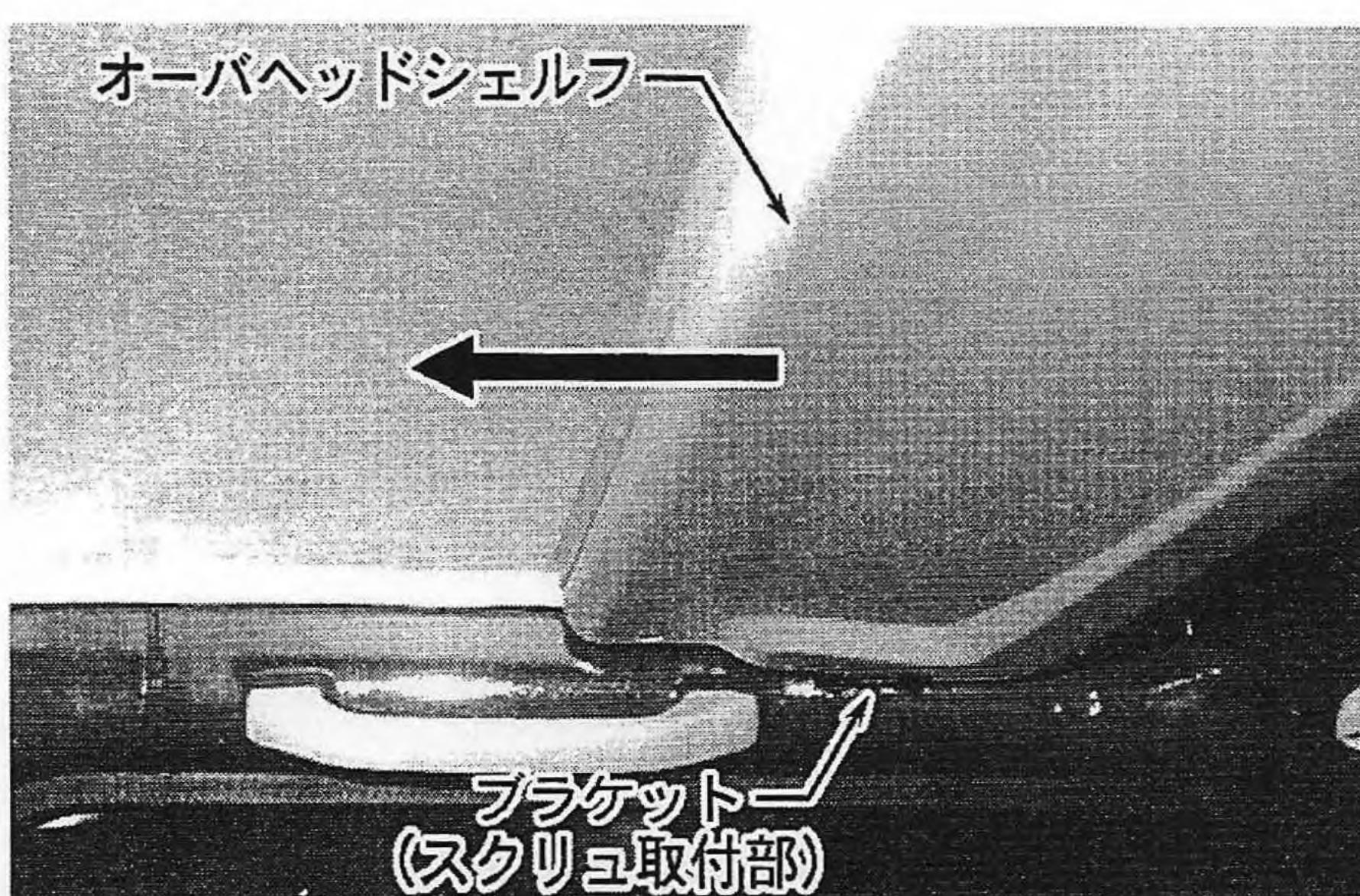
- (3) ルームランプコネクタを外す。

注意 オーバーヘッドラックを手前に引き出すこと。



- (4) オーバーヘッドラックを取り外す。

注意 ブラケットの位置より手前に引き出すこと。



- (5) 両側のガーニッシュルーフを取り外す。



- (6) ルーフトリムを取り外す。

注意 ルーフトリムの中央部を引きおろす様にして両側の嵌め込み部も引き出す。



注意 ルーフトリムを引き出す時は折曲げキズがつかないように充分注意のこと。

<取付け>

取外しの逆手順にて行う。

注意 両側を嵌め込んでおき中央部を押し込むようにして取り付ける。

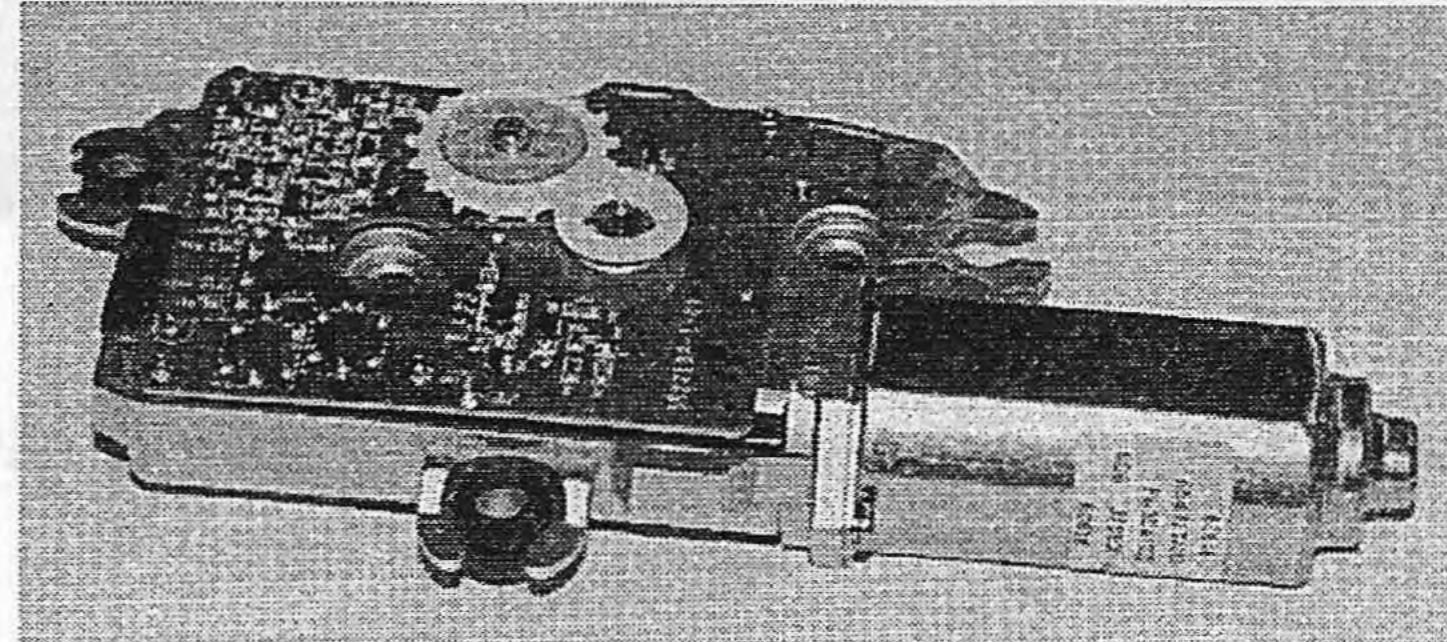
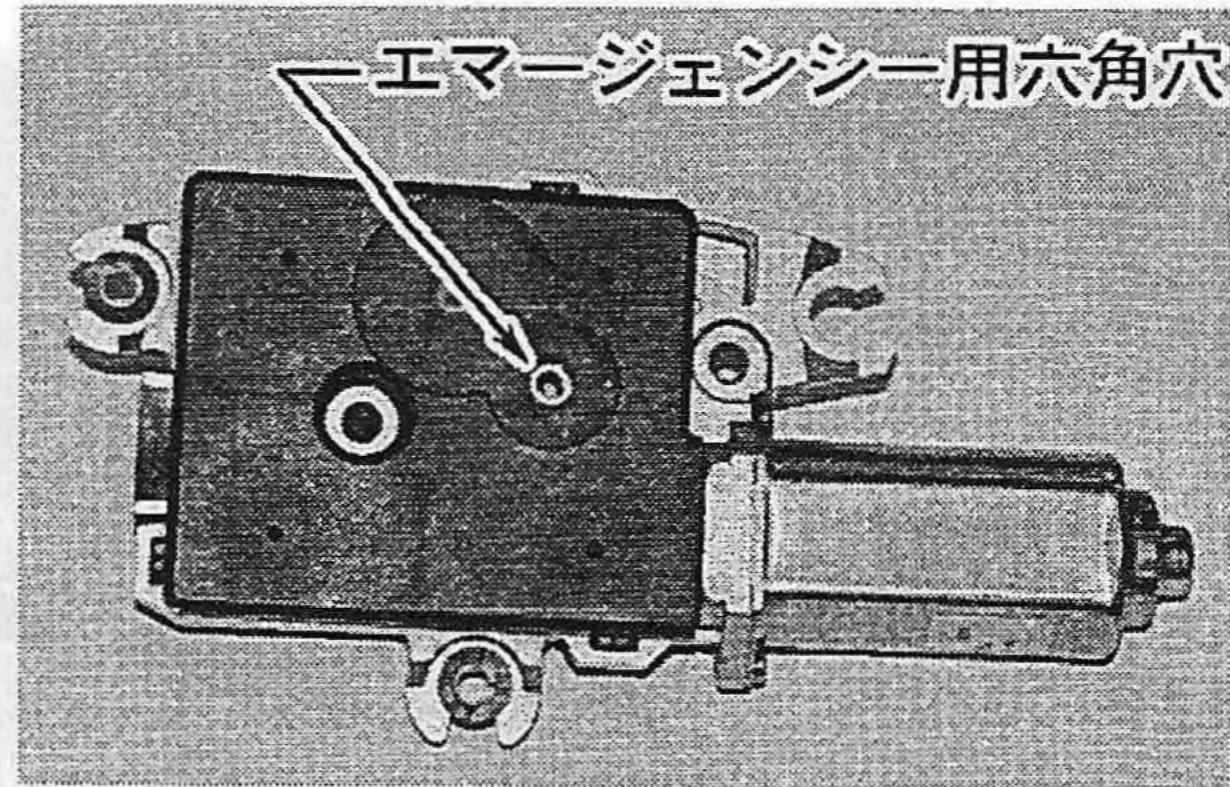
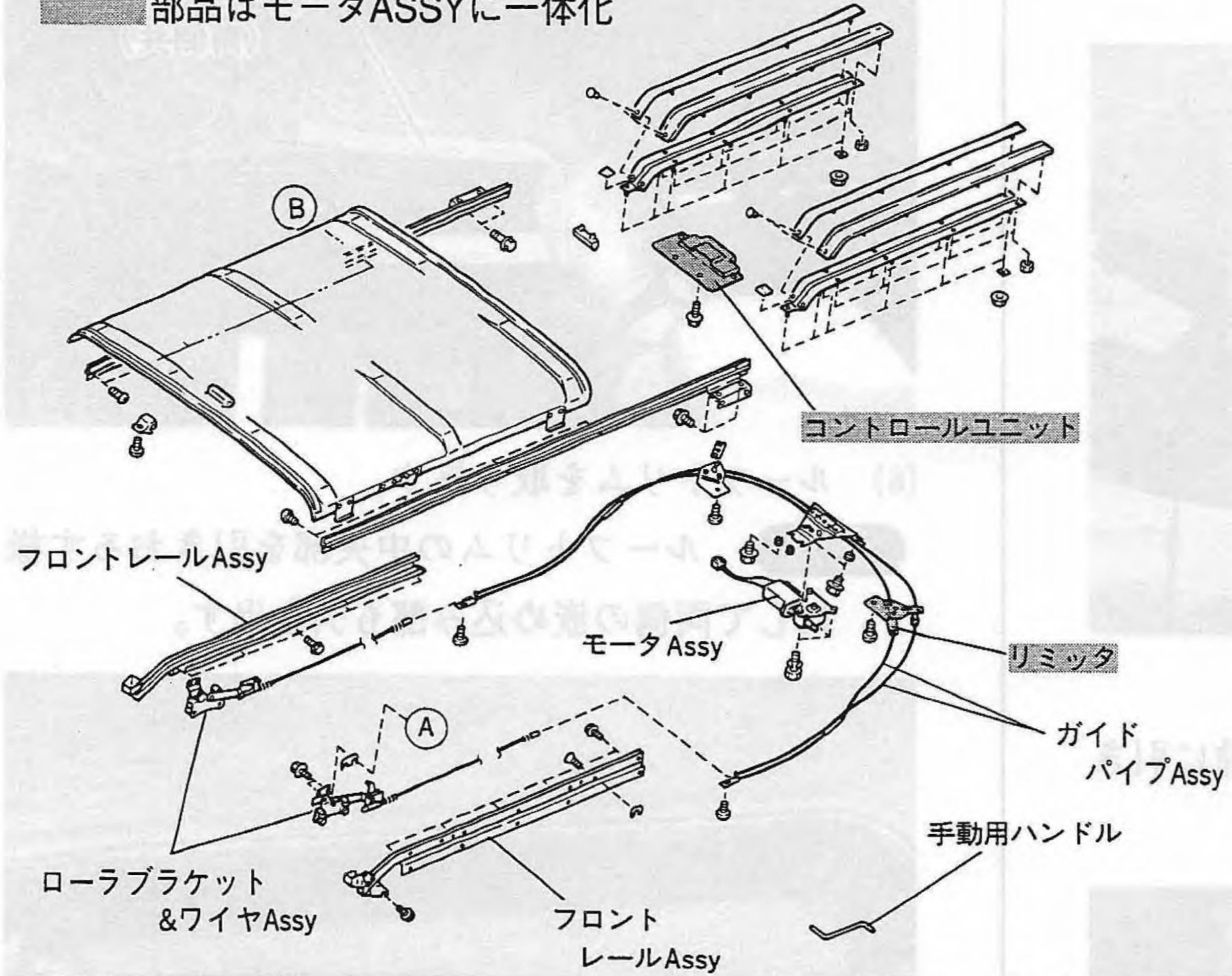
〔3〕リヤサンルーフモータ（一体型モータASSY）

■ 概要

- リヤサンルーフ車のサンルーフモータASSYを新製した。

コントロールユニット、リミットSWとの一体型モータASSYで作業性が向上した。

部品はモータASSYに一体化



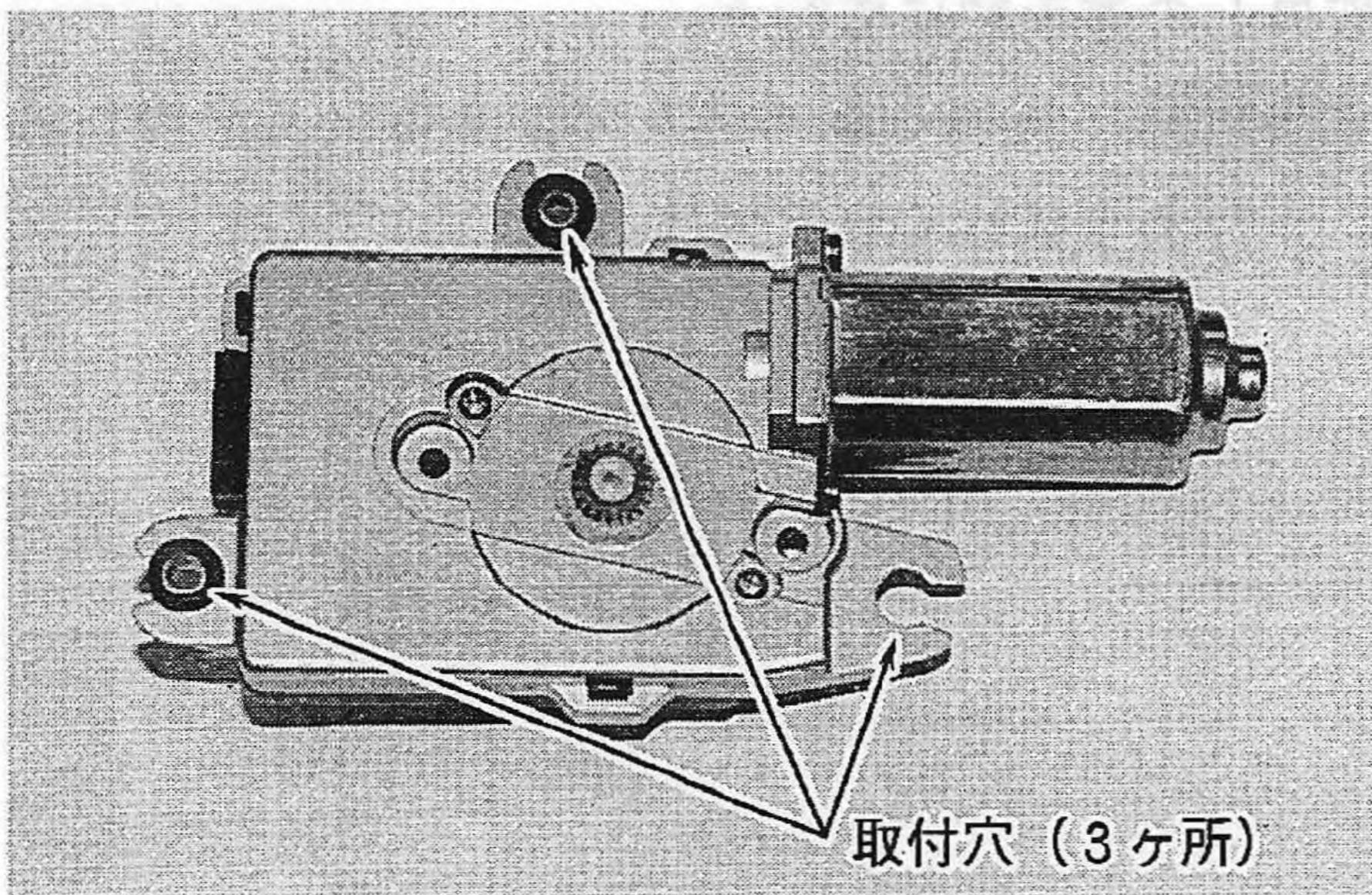
■ 整備要領

モータASSY

- ルーフトリム外し。
- サンシェードASSYを取り外す。
- ガラスリッドを取り外す。
- モータASSYを取り外す。

モータASSYを取り付ける。

注意 モータASSYを仮組みし、ハンドルを約20回まわして確実にギヤとケーブルをかみ合わせること。



注意 ボディに傷を付けないように充分注意すること。

〔1〕バンパー (クラシック車)

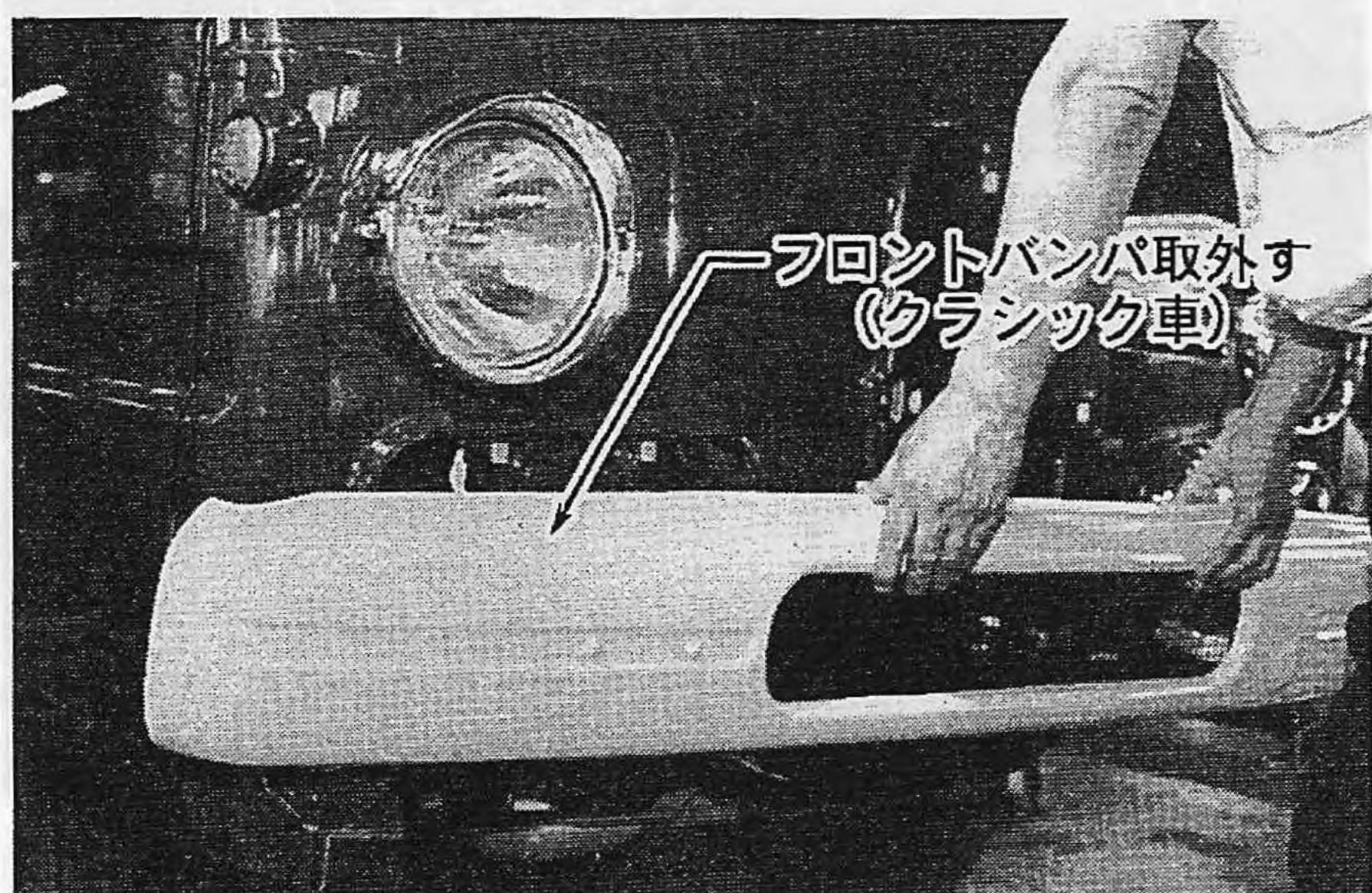
■ 整備要領 (1) フロントバンパー

<取外し>

- (1) 車両をリフトアップし、バンパーステーCOMPL取付けボルト (8mm 2ヶ所×左右) を取り外す。



- (2) バンパーを取外す。



<取付け>

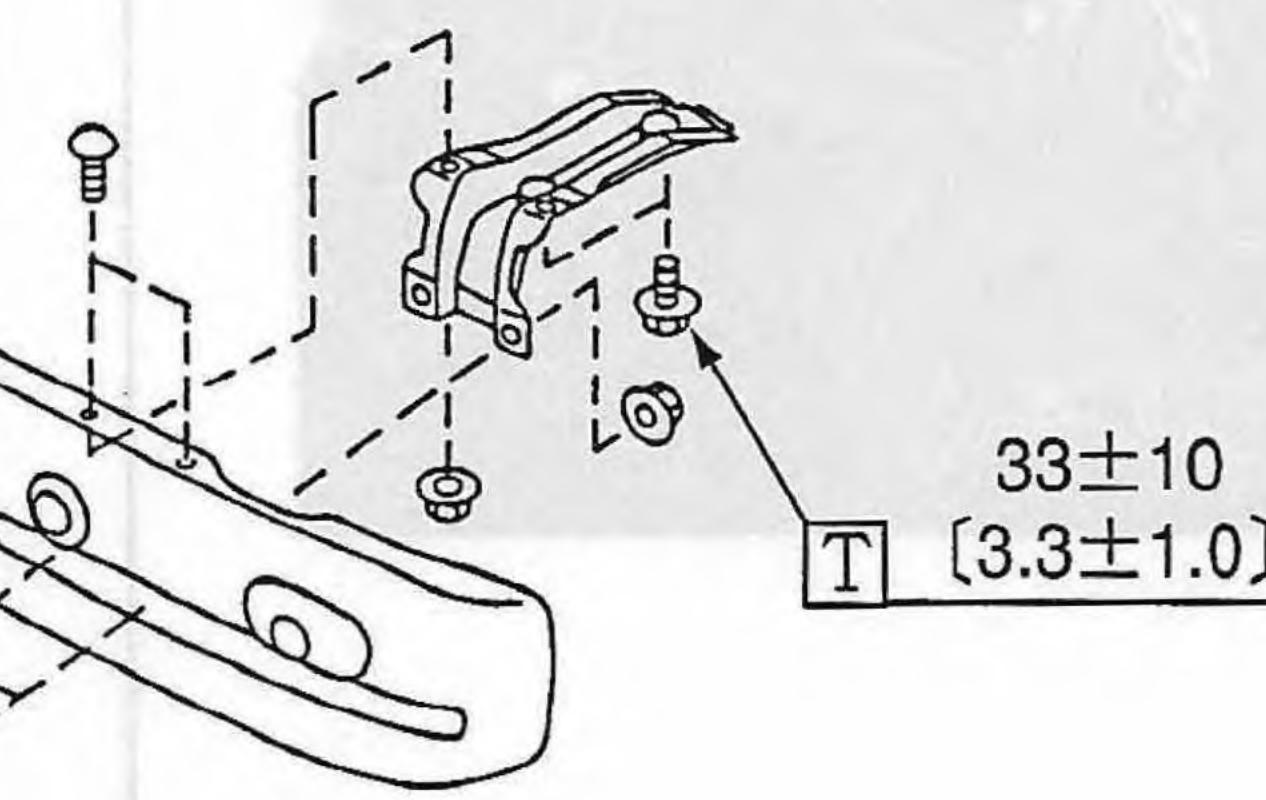
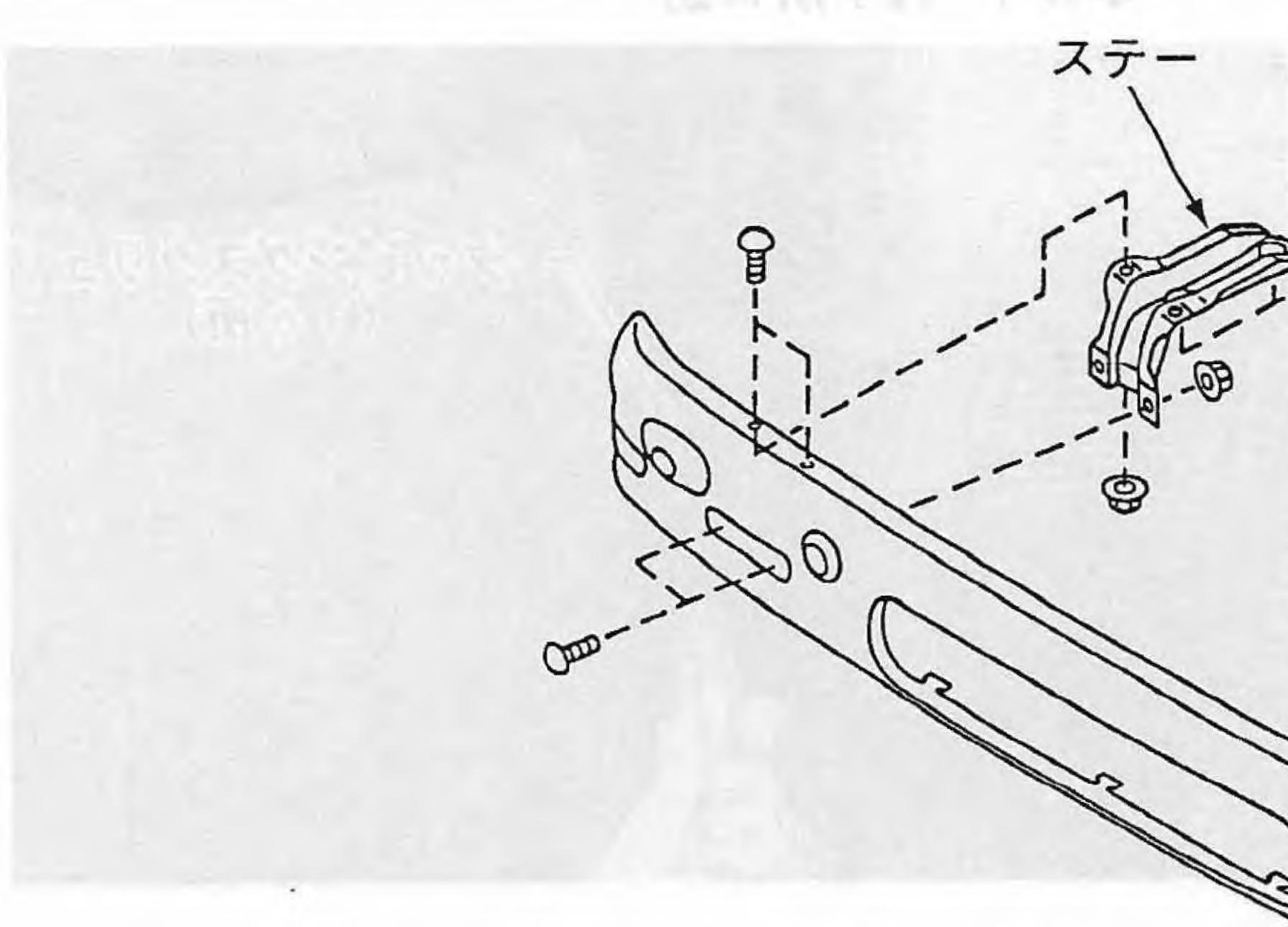
取外しの逆順序で行う。

注意

バンパーステーの上側に確実に差し込むこと。



T 締付トルク N·m [kg·m]

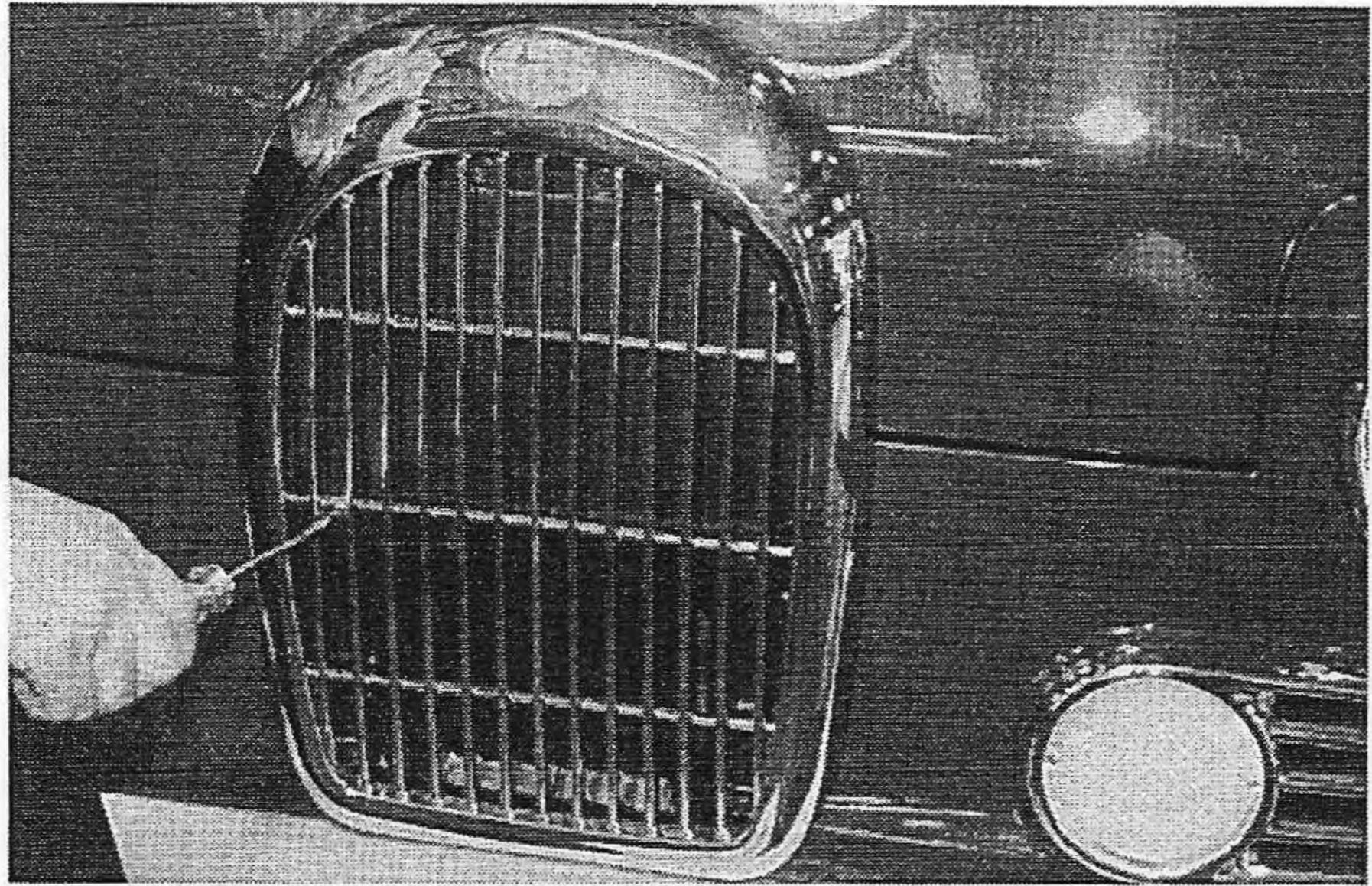


〔2〕 フロントマスク (クラシック車) ■ 整備要領

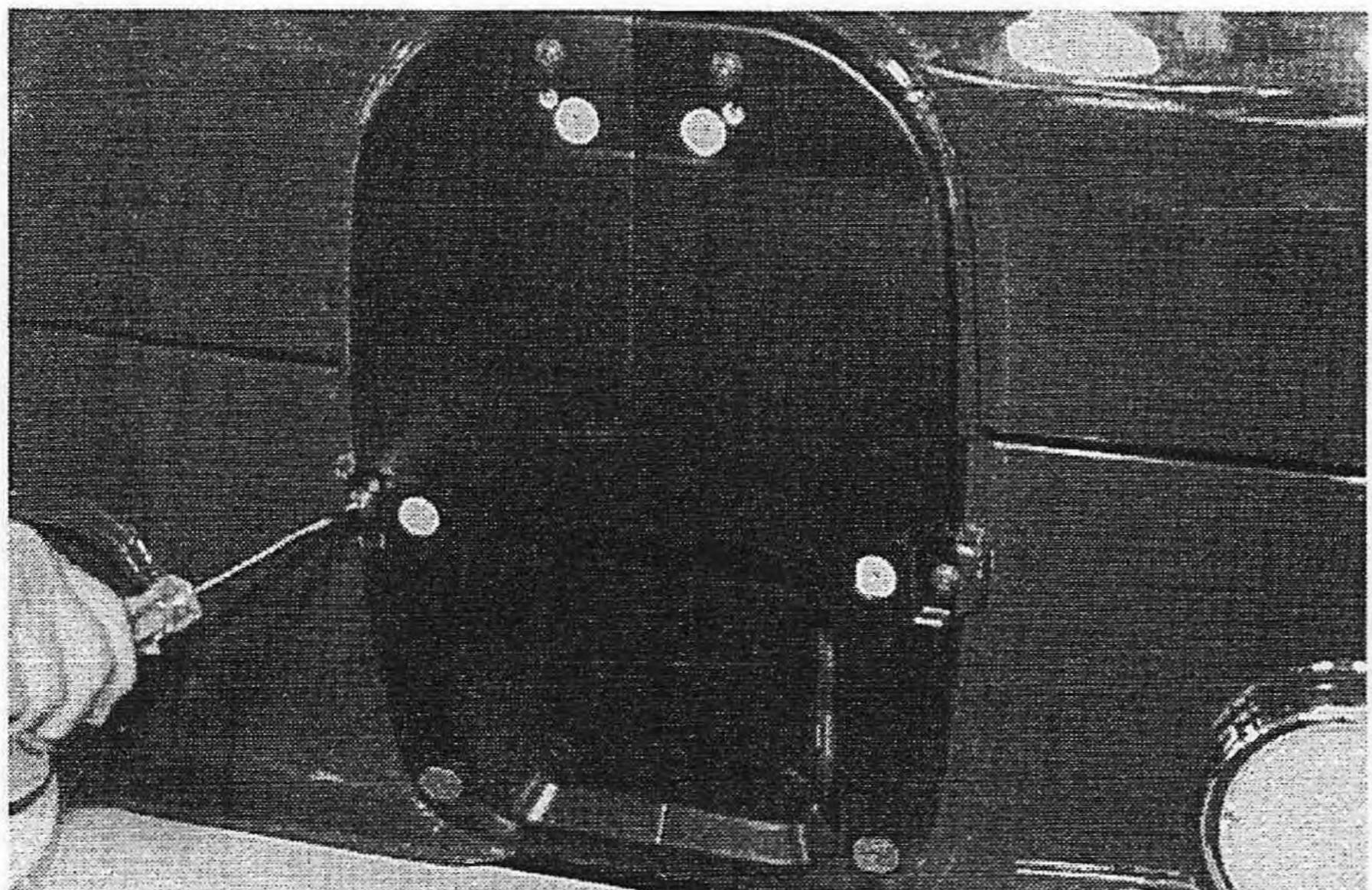
脱 着

<取外し>

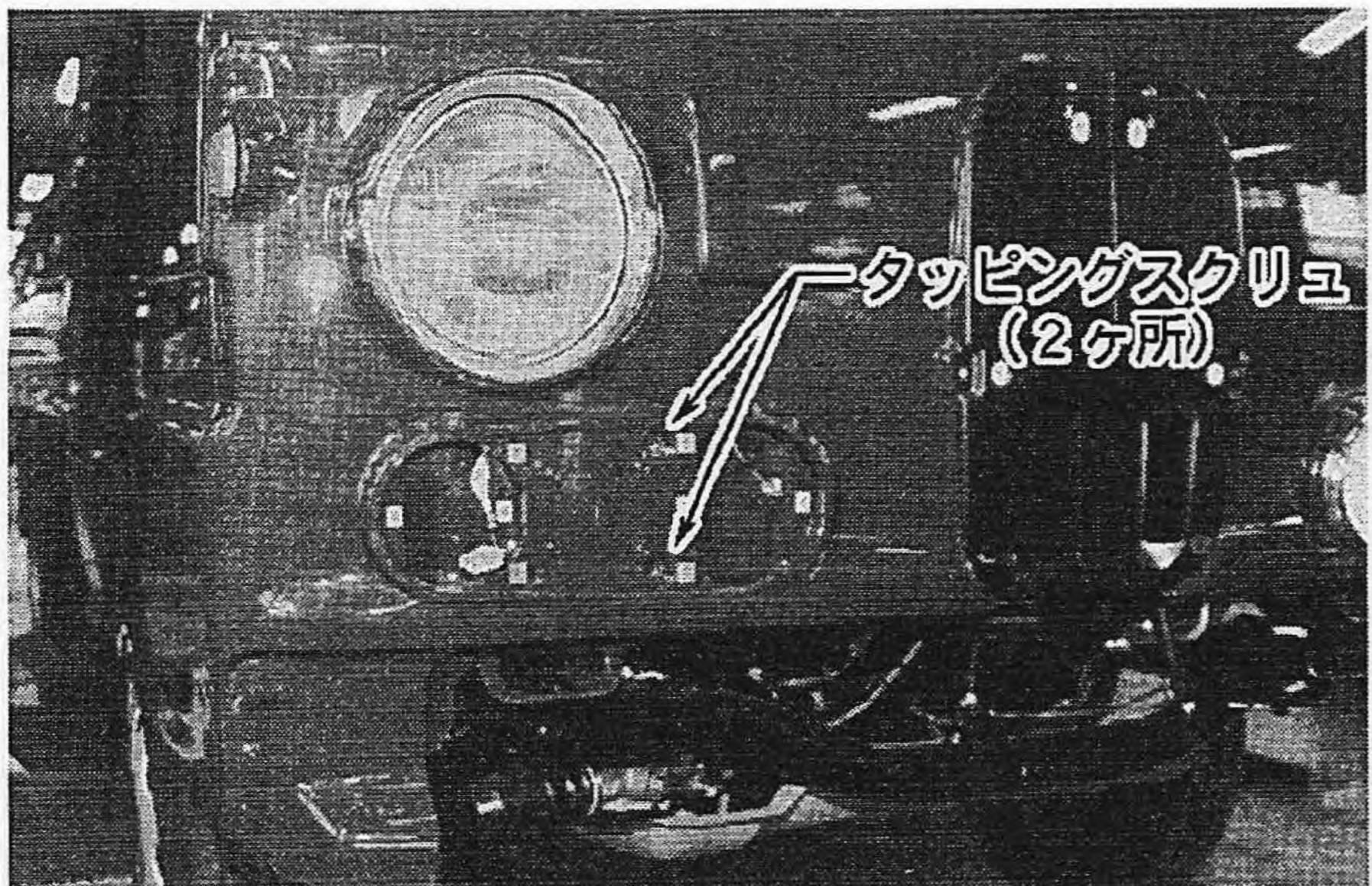
- (1) フロントバンパーASSYの脱着 (バンパ脱着の項参照)。
- (2) フロントグリルを外す。
 - ・スクリュ (6ヶ所)



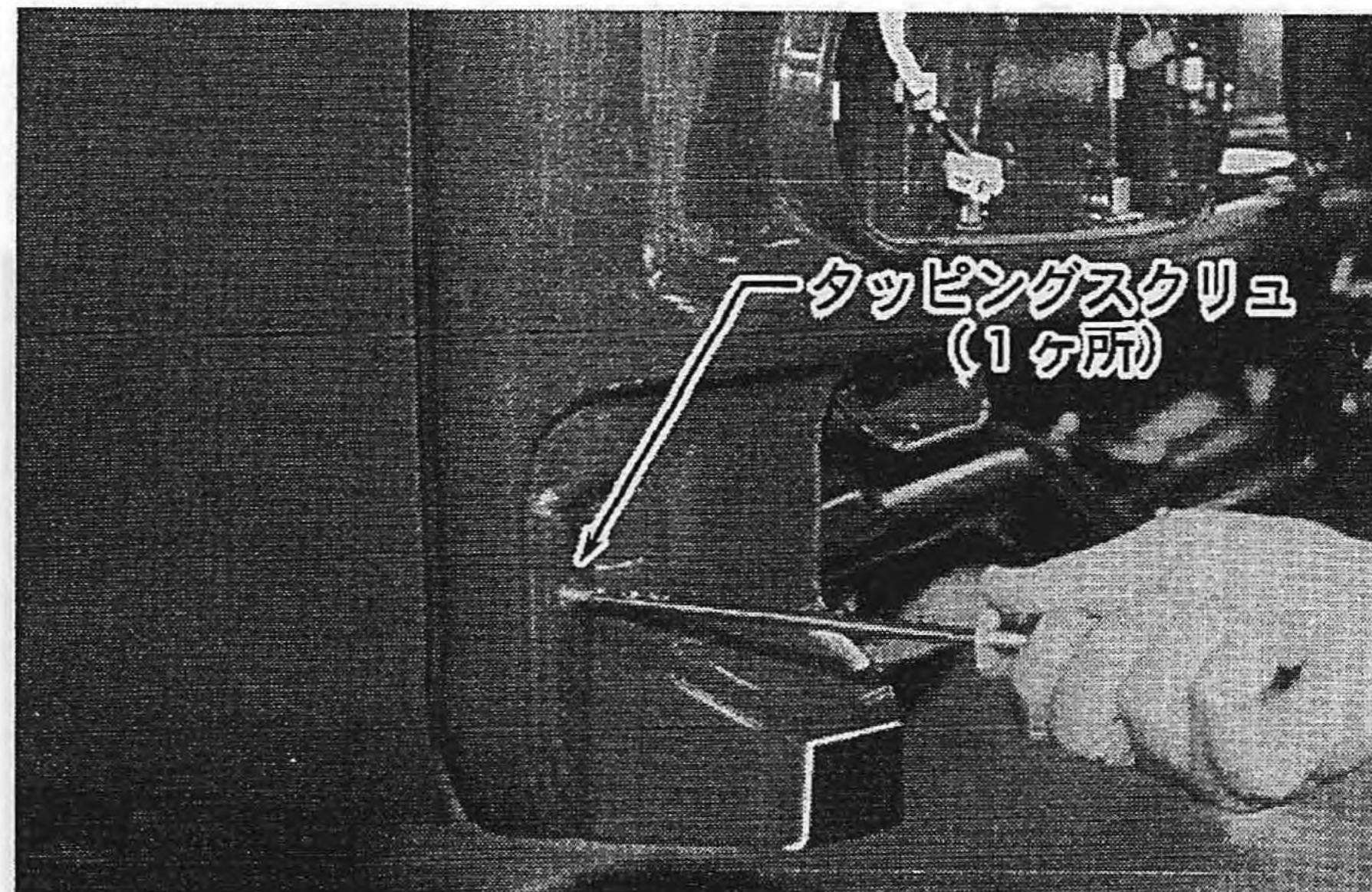
- (3) フロントマスク取付けボルト (4ヶ所)。



- (4) クリアランスカバー (左右共) を外す。
 - ・スクリュ (4ヶ所×2)
 - ・フロントマスク取付けボルト (2ヶ所×2)



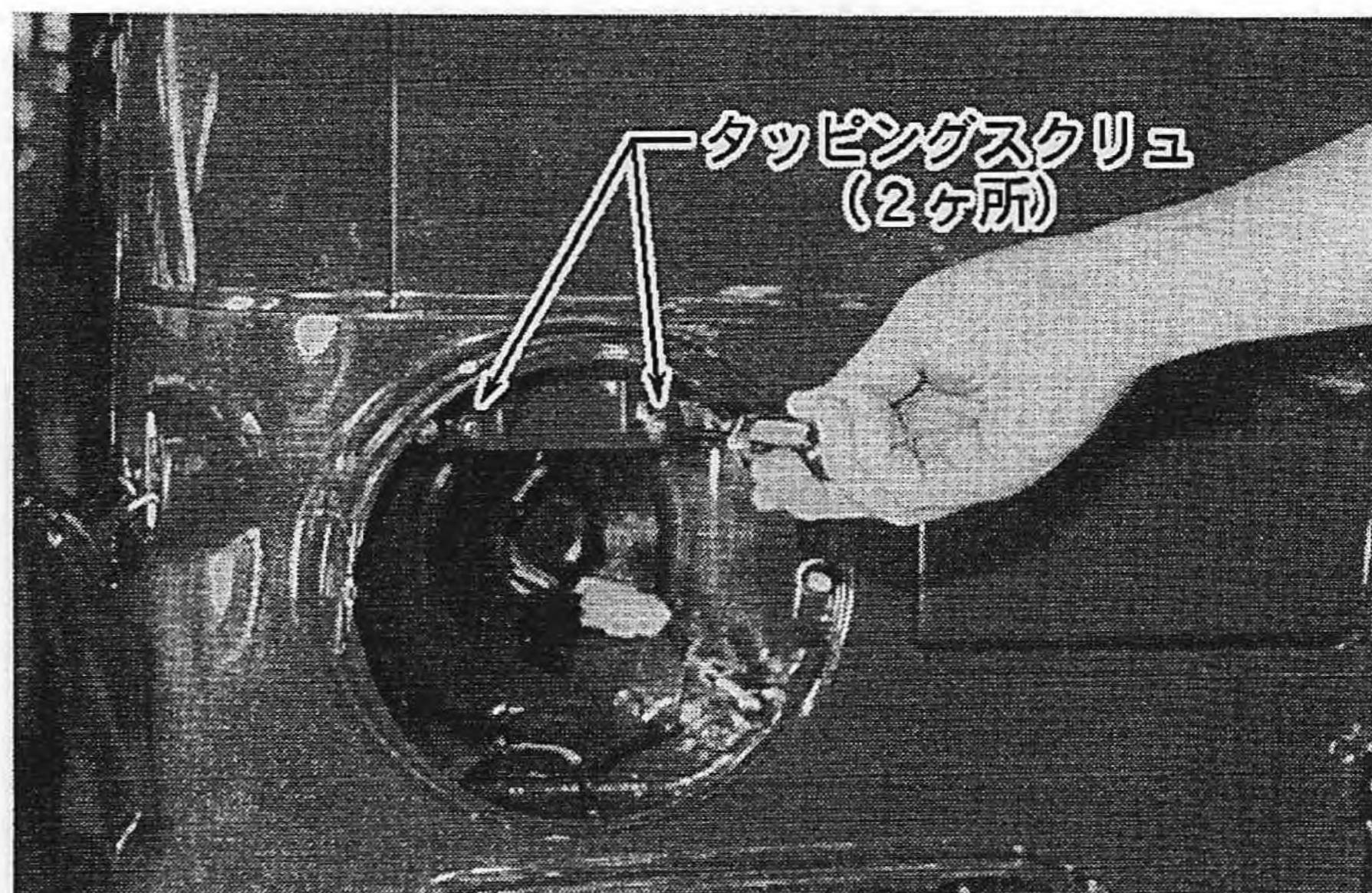
- (5) フロントマスクとボディ取付けスクリュ (2ヶ所) を外す。



- (6) ヘッドライト (左右共) を外す。

(ヘッドライト脱着の項参照)

- ・更にランプを外した後、裏側の取付けボルト (2ヶ所×左右) を外す。



- (7) 室内側よりフロントマスク取付けボルトをゆるめる。 (左右共)

- ・ボルト (1ヶ所×2)



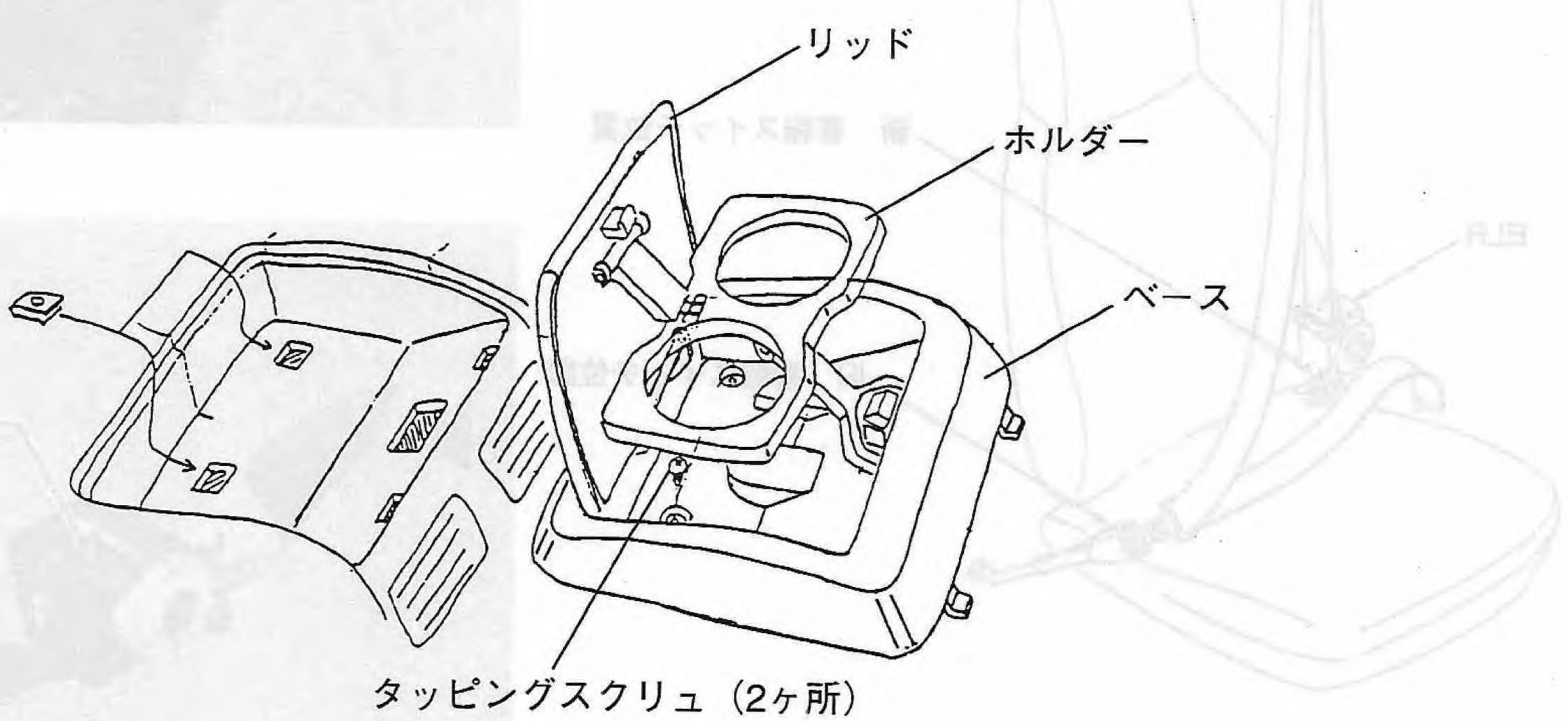
- (8) フロントマスク (左右分割型) を取外す。

<取付け> 取外しの逆手順にて行う。

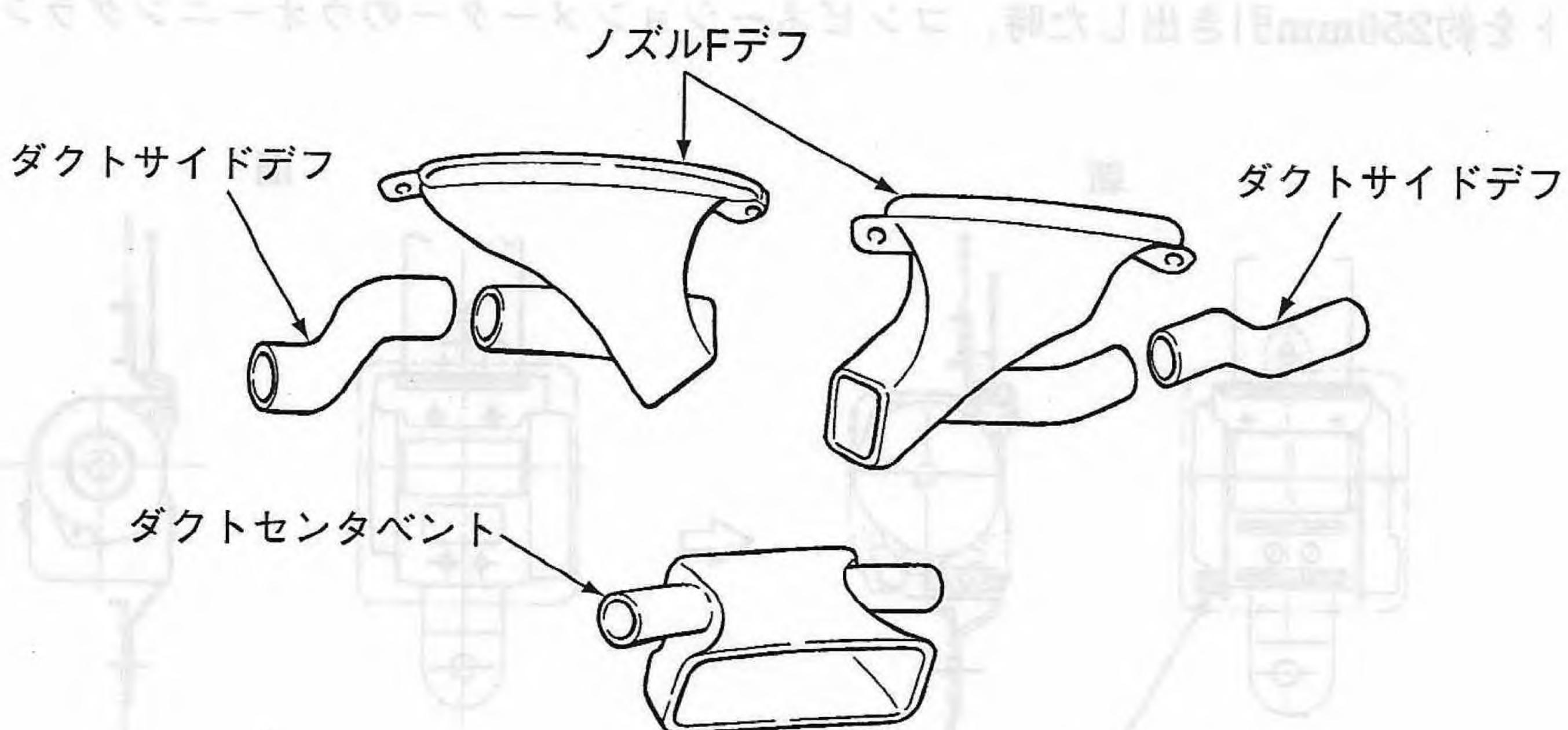
〔1〕インストルメントパネル ■ 概要

要點 インストルメントパネル

- ・ディアス系全車のインストルメントパネル中央部にカップホルダーを新設定した。

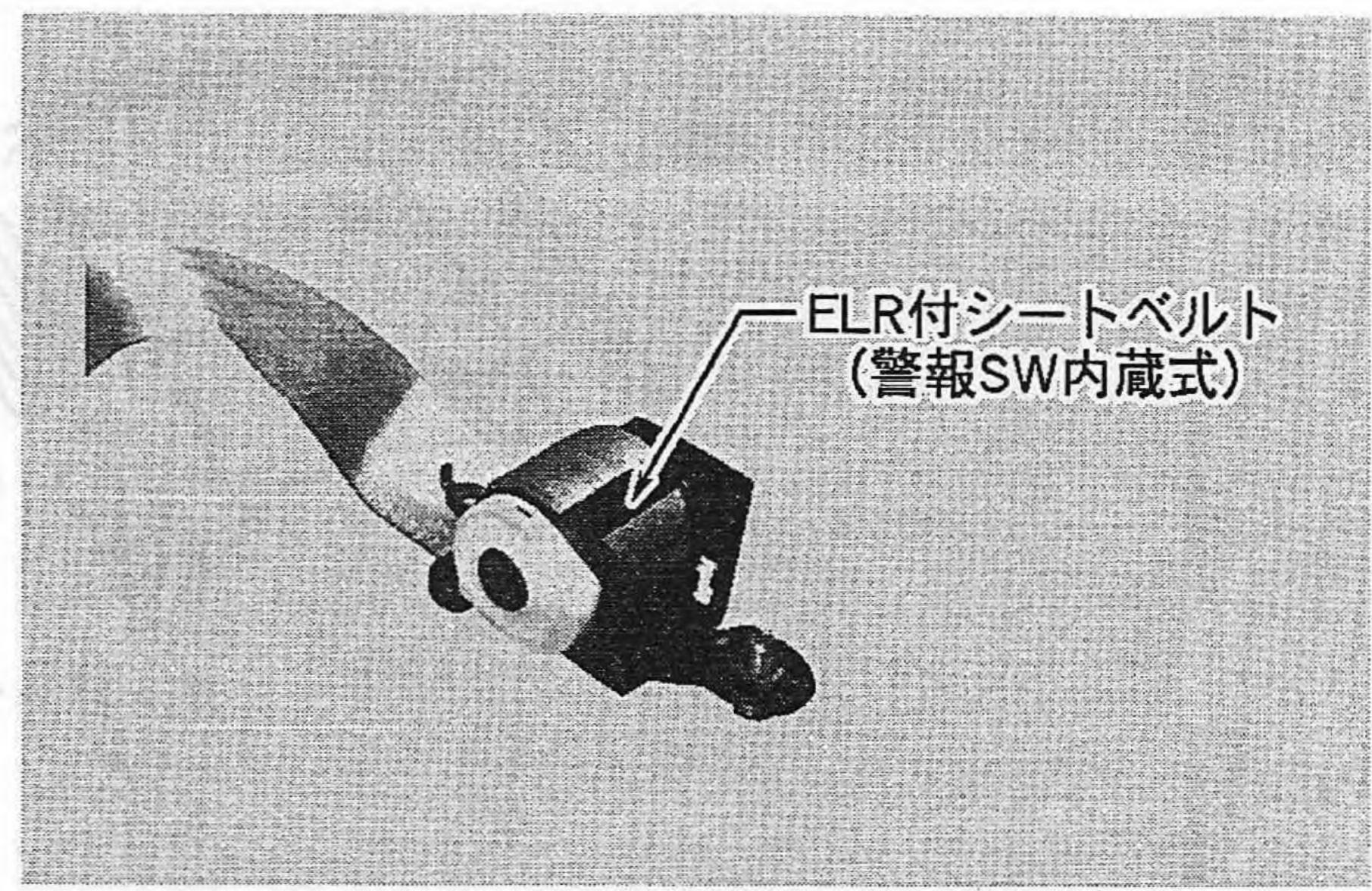
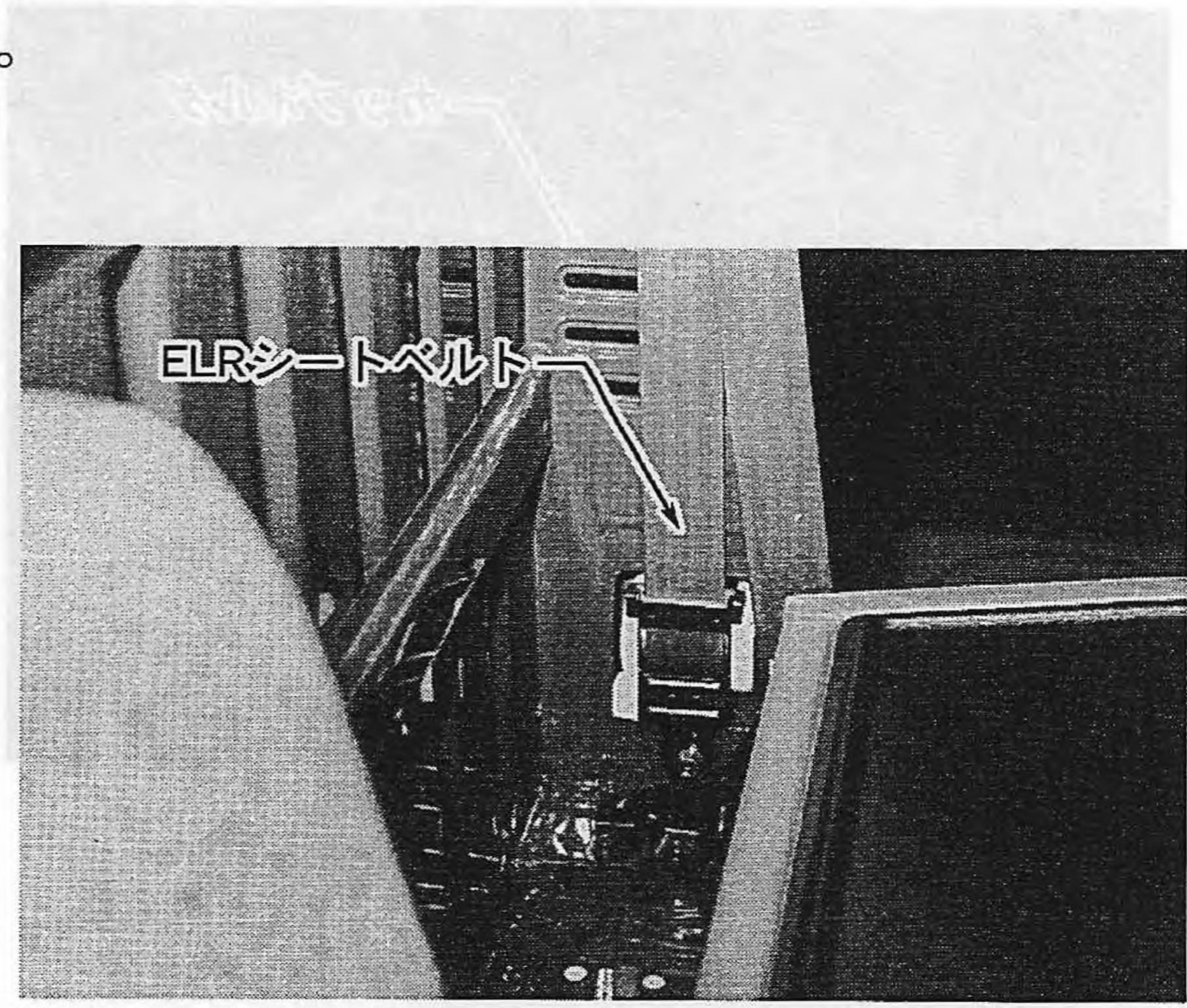
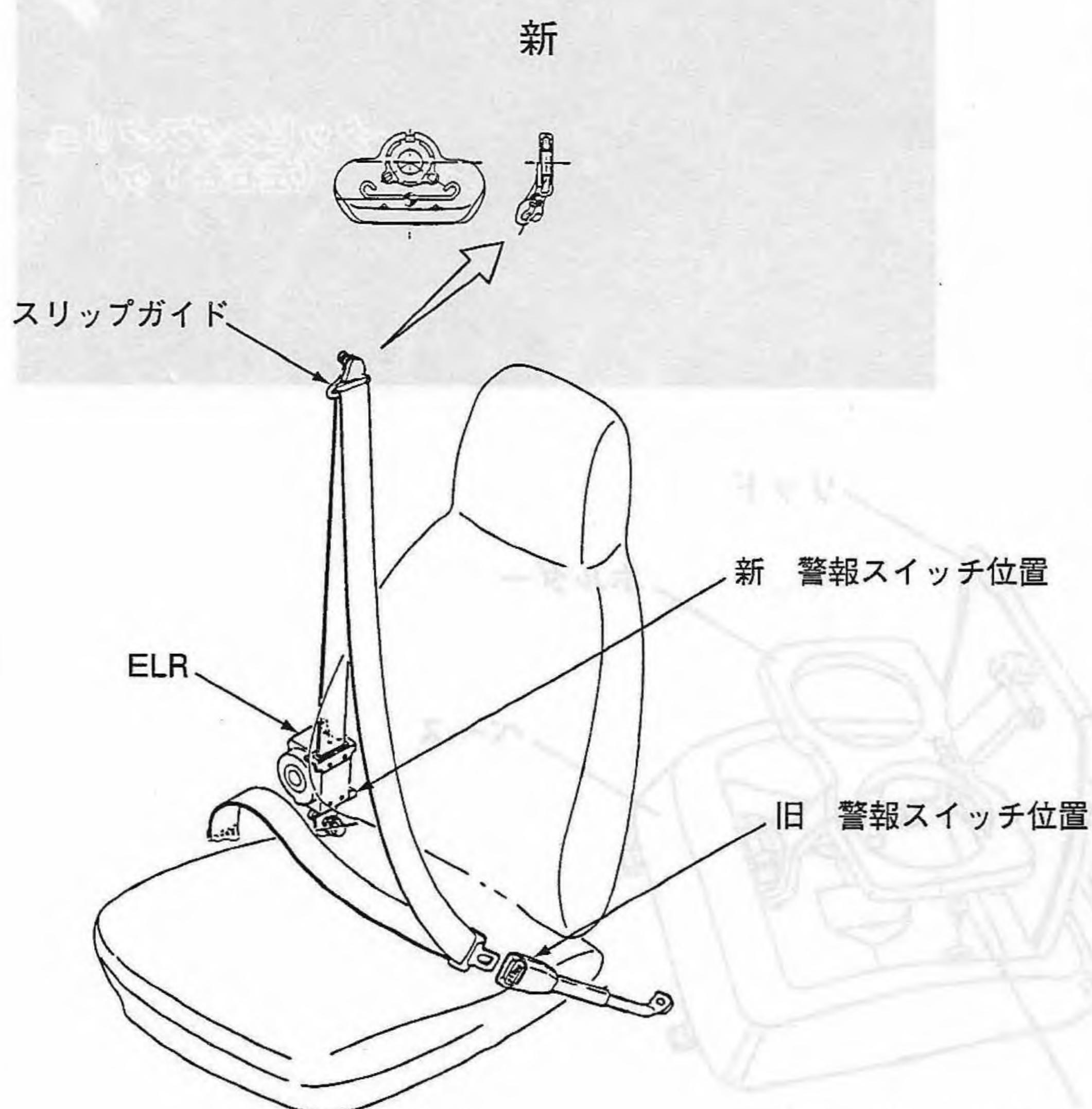


- ・ヒーター変更に伴いダクト系（ノズルFデフ、ダクトセンタベント、ダクトサイドデフ）の形状を変更した。

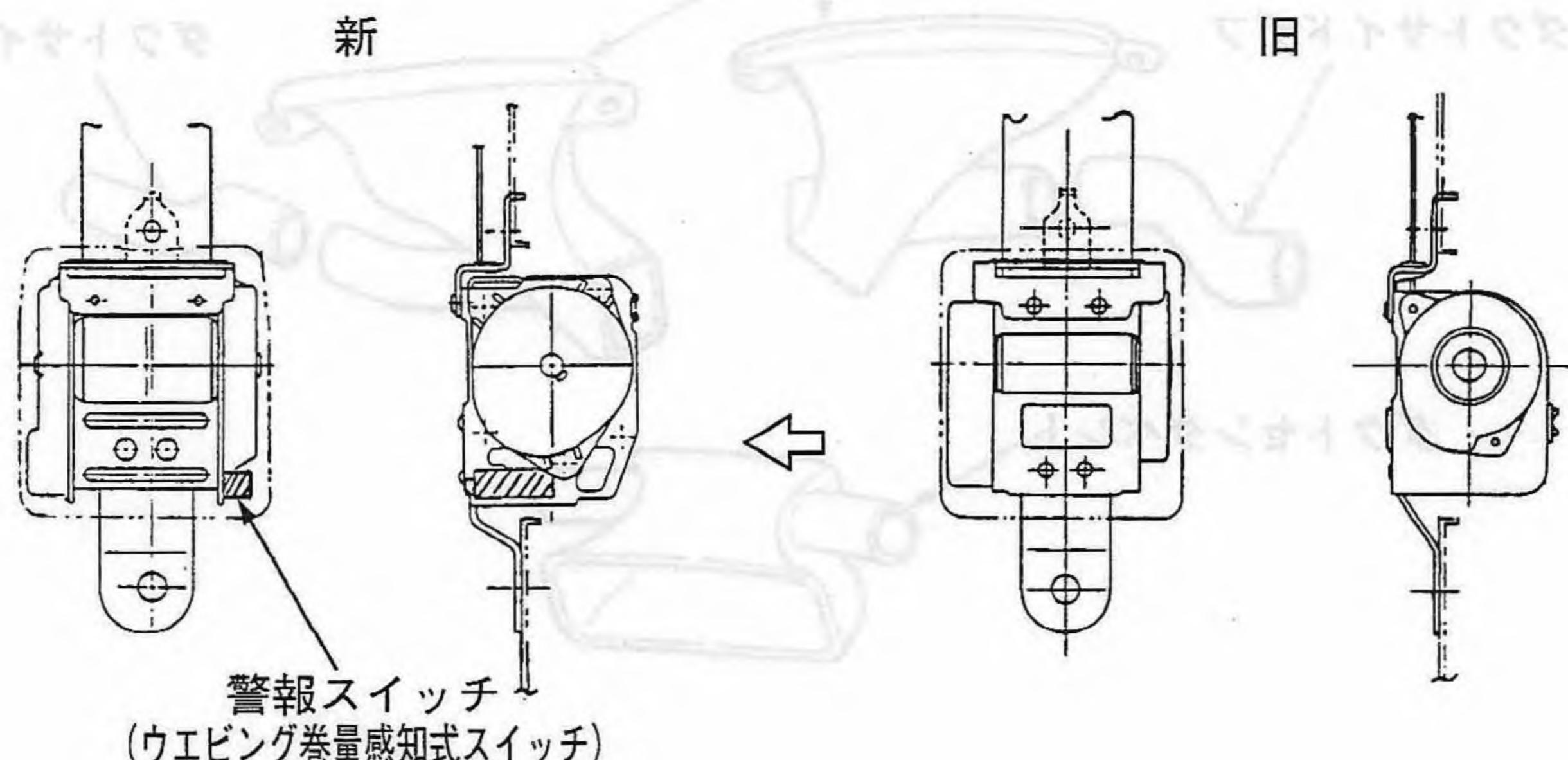


〔2〕 シートベルト ■ 概要

- ・シートベルトのELR（緊急ロック式巻取装置）のタイプを変更した。
- ・運転席シートベルトの未装着警報スイッチ位置を変更した。
- ・スリップガイド（サッシュガイド）の形状を変更した。
- ・シートベルト脱着等は従来と変更はない。

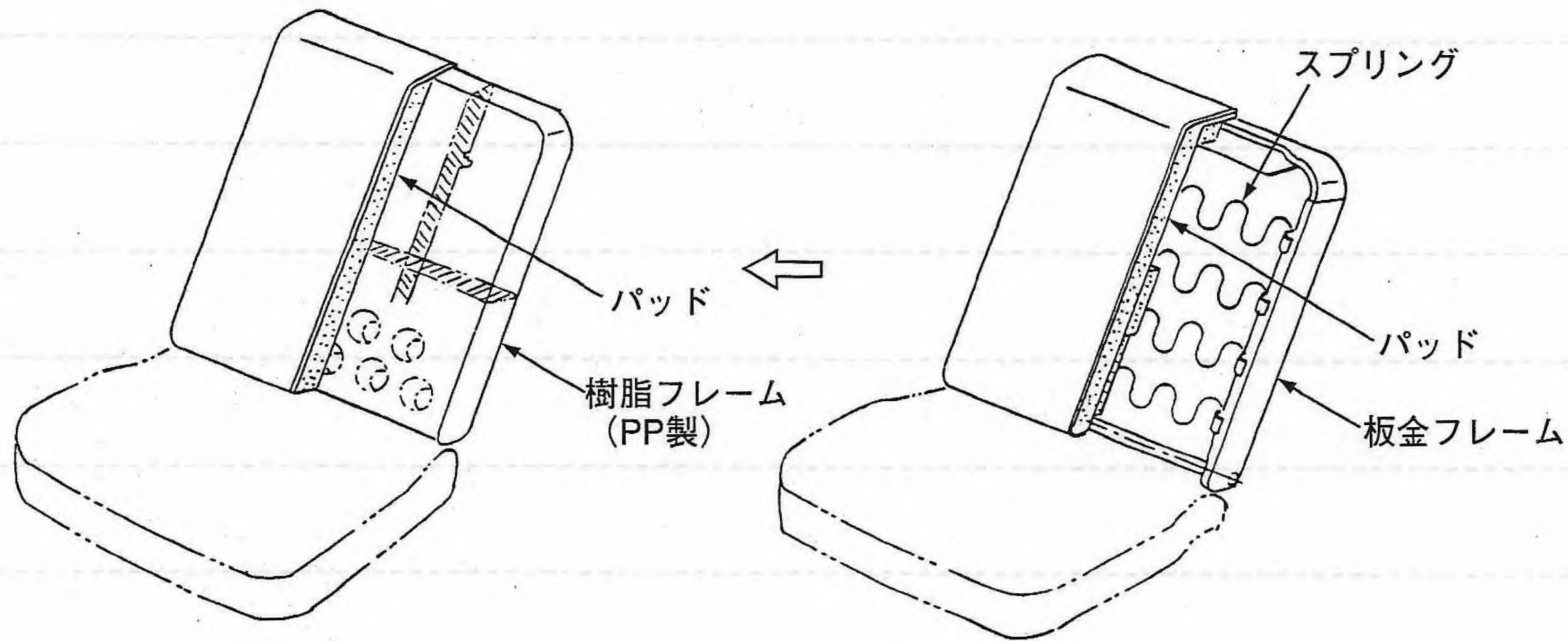


- ・INベルトのバックルはELR内臓（ウェビング巻量感知式スイッチ）を採用した。
- シートベルトを約250mm引き出した時、コンビネーションメーターのウォーニングランプが消灯する。

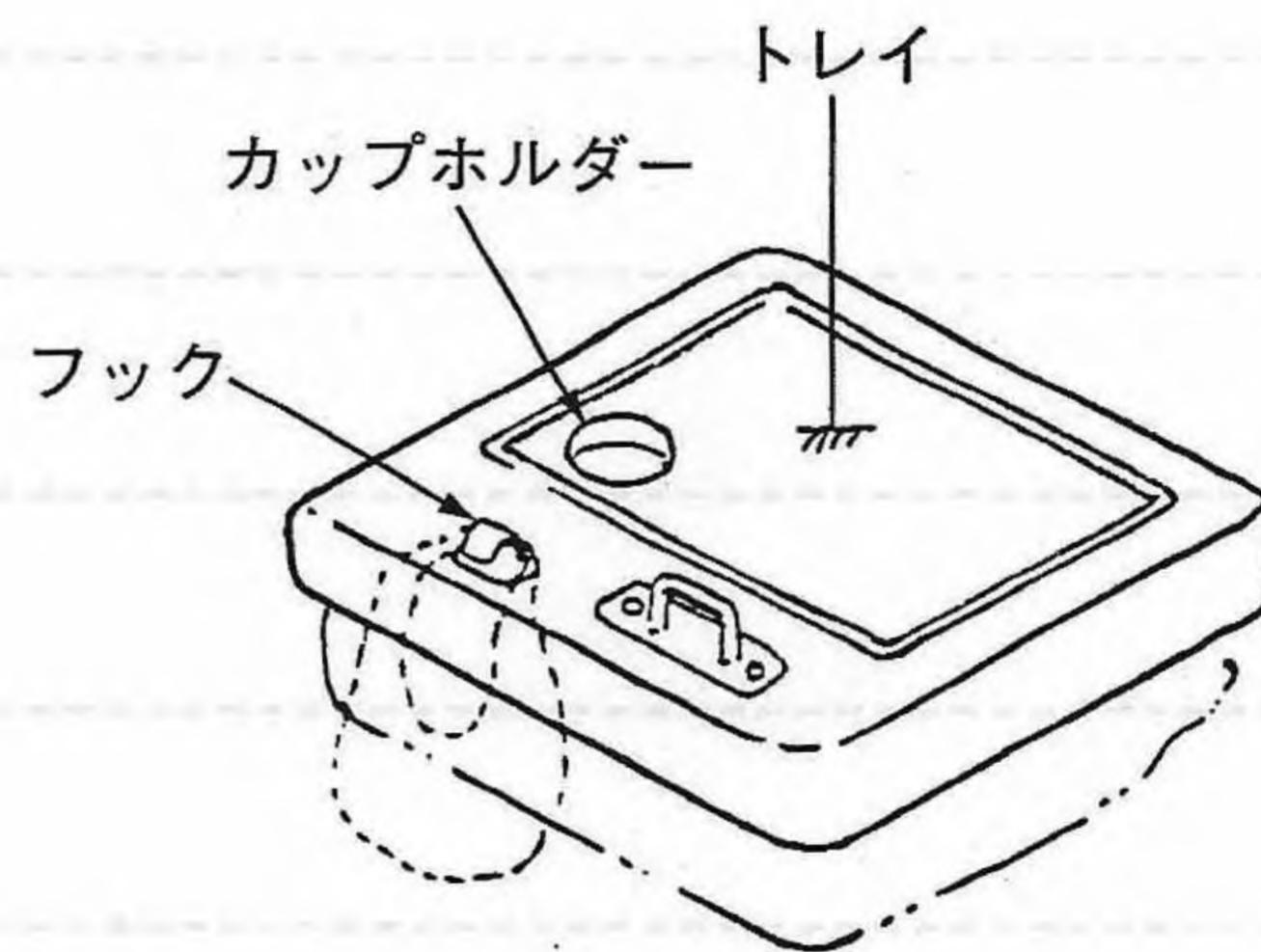


[3] シート ■ 概要

- ・ トランク、パネルバン車の助手席シートバックフレームを樹脂製に変更した。(従来は板金フレーム)

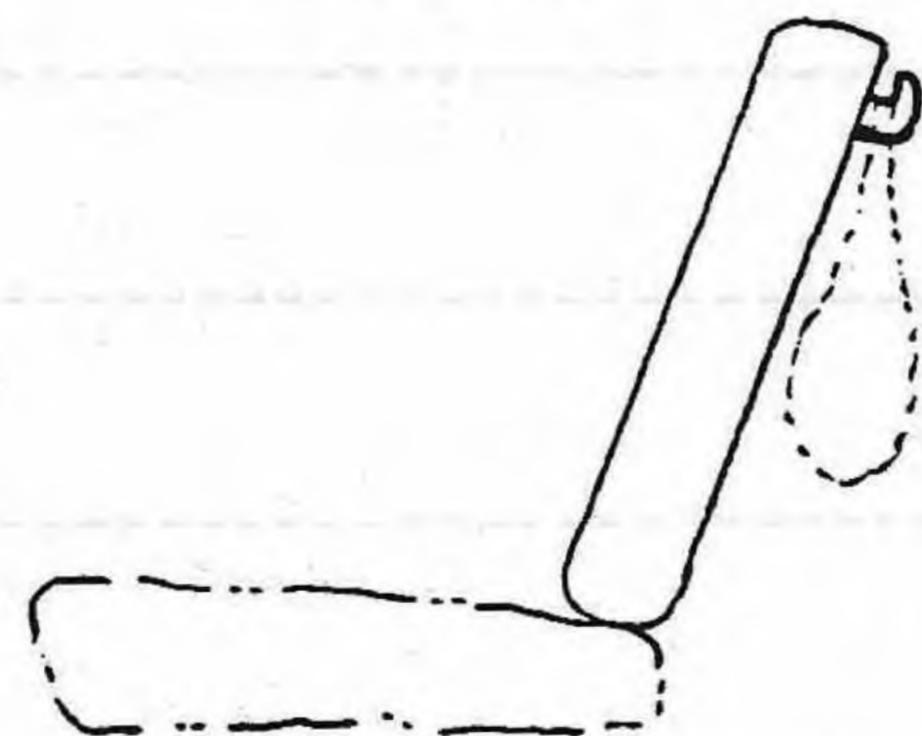


この背面には、バックレストを前倒しした時に使用できる
 「カップホルダー＆トレイ」
 「荷物引掛けフック」
 を標準装備とした。

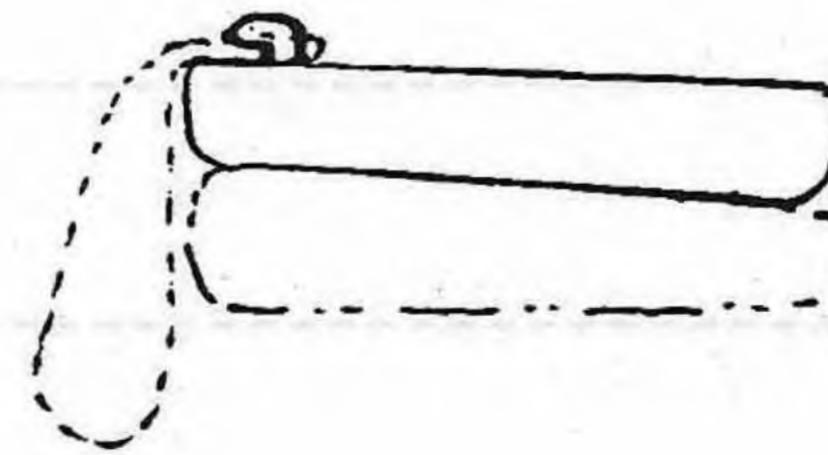


尚、「荷物引掛けフック」は、2つの使い方ができる。

一般使用時



バックレスト前倒し時



[4] 大型ドアミラー ■ 概要

- ・ 大型ドアミラーのステーをアルミダイキャストから樹脂製とし、クロムメッキ処理を施した。
 (ディアスクラシック車)
 なおディアスⅡ、ディアスⅡマレッサは黒色で従来と変わっていない。

MEMO

